

## 第3章 高齢者一般調査B

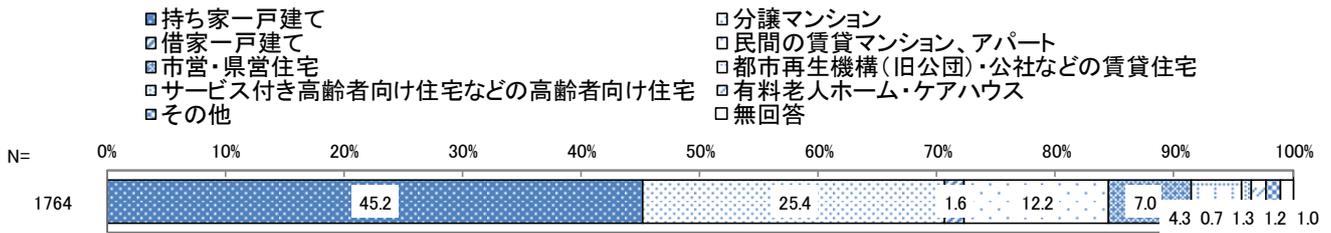
### 1. 現在の住まいについて

#### (1) 居住の状況

##### ① 住居形態

問8 あなたの住まいは、次のどれですか。(○は1つ)

【図表 3-1-1 住居形態】



住居形態は、「持ち家一戸建て」が45.2%で最も高く、次いで「分譲マンション」が25.4%となっていて、これらを合わせた『持ち家』が70.6%となっている。

【図表 3-1-2 住居形態×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	持ち家一戸建て	分譲マンション	借家一戸建て	民間の賃貸マンション、アパート	市営・県営住宅	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	有料老人ホーム・ケアハウス	その他	無回答
全体		1764	45.2	25.4	1.6	12.2	7.0	4.3	0.7	1.3	1.2	1.0
性別	男性	773	45.5	25.6	1.7	14.2	6.5	3.2	0.3	0.9	1.7	0.4
	女性	973	45.2	25.0	1.4	10.9	7.4	5.1	1.1	1.6	0.9	1.2
年齢別	60～64歳	343	37.6	31.5	2.9	19.8	3.2	3.2	0.0	0.0	1.5	0.3
	65～69歳	407	40.5	29.5	1.5	14.7	7.4	4.2	0.2	0.0	0.7	1.2
	70～74歳	378	45.5	28.8	1.6	8.5	8.7	5.8	0.3	0.0	0.5	0.3
	75～79歳	275	50.2	22.9	0.4	7.6	9.8	6.2	0.4	1.1	1.1	0.4
	80～84歳	175	54.9	16.0	1.1	11.4	5.7	2.3	0.0	2.9	2.3	3.4
	85～89歳	118	52.5	11.9	1.7	8.5	9.3	2.5	3.4	6.8	1.7	1.7
90歳以上	64	53.1	7.8	0.0	7.8	3.1	3.1	9.4	10.9	4.7	0.0	
世帯構成別	一人暮らし世帯	357	23.0	20.2	0.8	27.2	10.6	8.7	2.0	3.9	1.4	2.2
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	573	52.7	27.6	2.3	5.8	6.6	3.1	0.3	0.5	0.5	0.5
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	141	39.0	43.3	1.4	6.4	5.7	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	97	37.1	39.2	2.1	13.4	2.1	3.1	0.0	1.0	2.1	0.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	62	64.5	11.3	1.6	6.5	8.1	4.8	1.6	0.0	1.6	0.0
	二世帯同居世帯	316	53.2	23.4	1.3	9.8	7.0	3.5	0.3	0.3	0.3	0.9
三世帯同居世帯	56	71.4	12.5	0.0	7.1	3.6	1.8	0.0	0.0	1.8	1.8	
その他の世帯	130	49.2	20.8	0.0	16.2	3.8	3.1	1.5	3.1	2.3	0.0	

年齢別にみると、年齢が低くなるほど「分譲マンション」の割合が高くなっており、60～64歳では31.5%となっている。

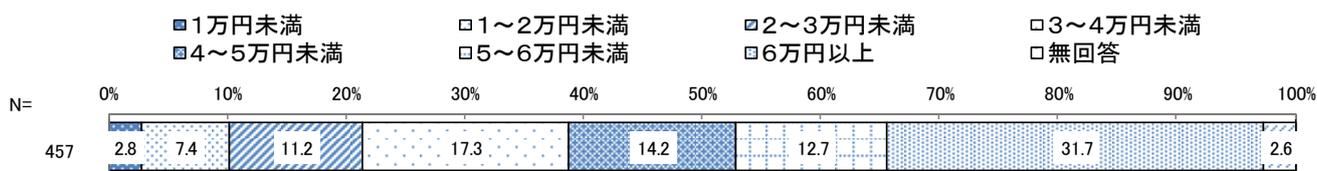
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「民間の賃貸マンション、アパート」の割合が他と比べて高くなっている一方、「持ち家一戸建て」の割合が他と比べて低くなっている。

②住まいの1か月の家賃

【問8】で「3」～「7」と答えた方にうかがいます。

問8-1 あなたの現在のお住いの1か月の家賃（共益費なども含む）はいくらですか。  
（〇は1つ）

【図表 3-1-3 住まいの1か月の家賃】



住まいの1か月の家賃は、「6万円以上」が31.7%で最も高く、次いで「3~4万円未満」が17.3%、「4~5万円未満」が14.2%となっている。

【図表 3-1-4 住まいの1か月の家賃×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	1万円未満	1~2万円未満	2~3万円未満	3~4万円未満	4~5万円未満	5~6万円未満	6万円以上	無回答 (%)
全体		457	2.8	7.4	11.2	17.3	14.2	12.7	31.7	2.6
性別	男性	200	2.0	5.0	13.0	19.0	15.0	10.0	32.0	4.0
	女性	253	3.6	8.7	9.9	16.2	13.8	15.0	31.2	1.6
年齢別	60~64歳	100	0.0	2.0	7.0	18.0	14.0	16.0	40.0	3.0
	65~69歳	114	4.4	5.3	9.6	19.3	16.7	12.3	30.7	1.8
	70~74歳	94	1.1	11.7	17.0	18.1	16.0	13.8	21.3	1.1
	75~79歳	67	3.0	7.5	16.4	19.4	14.9	10.4	23.9	4.5
	80~84歳	36	8.3	13.9	2.8	5.6	16.7	13.9	33.3	5.6
	85~89歳	30	6.7	13.3	16.7	13.3	0.0	6.7	40.0	3.3
	90歳以上	15	0.0	6.7	0.0	20.0	6.7	6.7	60.0	0.0
世帯構成別	一人暮らし世帯	176	4.5	7.4	13.6	22.7	18.2	13.1	17.0	3.4
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	104	4.8	10.6	9.6	14.4	15.4	14.4	26.9	3.8
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	22	0.0	13.6	9.1	22.7	9.1	13.6	27.3	4.5
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	20	0.0	0.0	5.0	10.0	5.0	25.0	55.0	0.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	14	0.0	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1	50.0	0.0
	二世帯同居世帯	69	0.0	2.9	13.0	13.0	11.6	10.1	49.3	0.0
	三世帯同居世帯	7	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	71.4	0.0
その他の世帯	32	0.0	3.1	3.1	15.6	9.4	12.5	56.3	0.0	

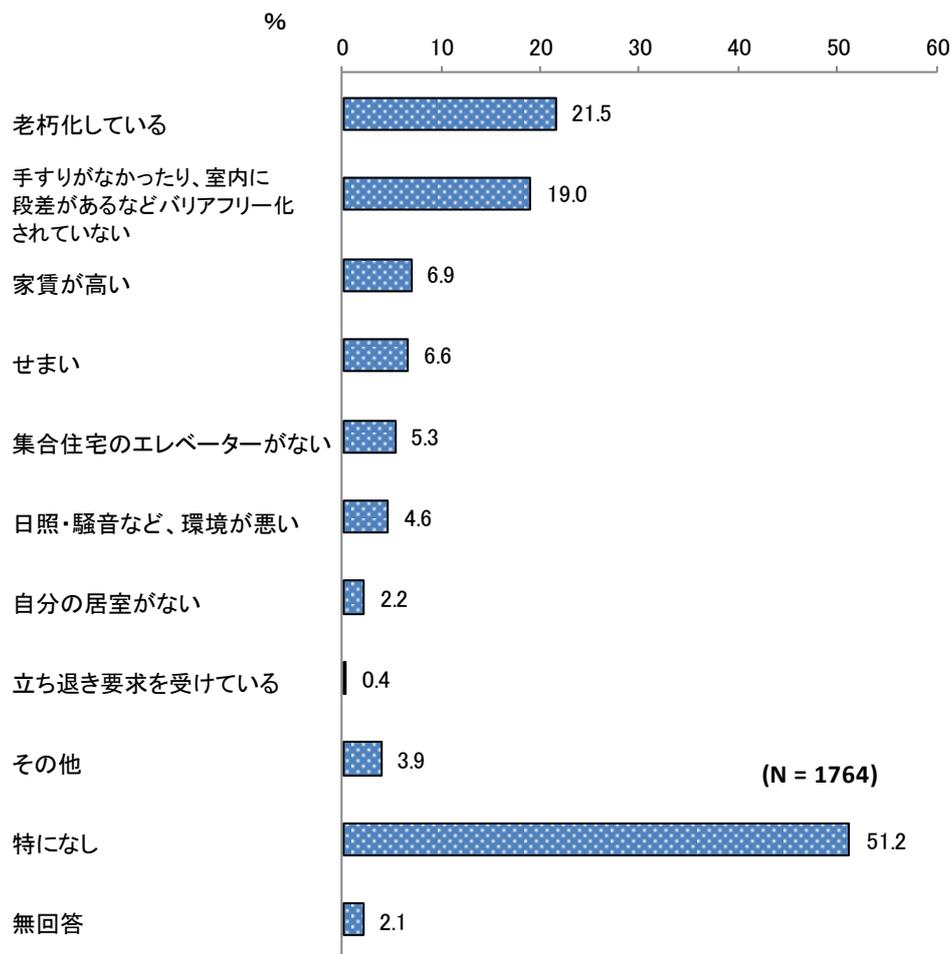
世帯構成別にみると、あなたとその他の高齢者のみの世帯では「1~2万円未満」の割合が他と比べて高くなっている。また、夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯では「5~6万円未満」の割合が他と比べて高くなっている。また、夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯、あなたとその他の高齢者のみの世帯、二世帯同居世帯、三世帯同居世帯では「6万円以上」の割合が高くなっている。

## (2) 住まいの利便性

## ① 住まいで困っていること

問9 あなたは、現在のお住まいで困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-2-1 住まいで困っていること】



現在の住まいで困っていることは、「特になし」が 51.2%で最も高くなっており、半数以上が今のところ住居に不便を感じていない。困っていることは、「老朽化している」が 21.5%で最も高く、次いで「手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」が 19.0%となっている。

【図表 3-2-2 住まいで困っていること×性別・年齢別・健康状態別・住居形態別】

		回答数	せまい	老朽化している	手すりがないなどバリアフリー化されていない	日照・騒音など、環境が悪い	家賃が高い	立ち退き要求を受けている	自分の居室がない	集合住宅のエレベーターがない	その他	特になし	無回答
全体		1764	6.6	21.5	19.0	4.6	6.9	0.4	2.2	5.3	3.9	51.2	2.1
性別	男性	773	8.8	22.6	16.8	4.4	7.1	0.3	2.3	4.5	3.0	52.4	1.2
	女性	973	5.0	20.6	21.0	4.8	6.7	0.5	2.2	5.8	4.4	50.6	2.7
年齢別	60～64歳	343	8.5	19.2	13.1	6.7	7.0	0.6	2.9	4.7	4.1	57.4	0.9
	65～69歳	407	8.4	21.1	16.0	3.9	8.6	0.0	3.2	7.6	4.7	51.1	2.0
	70～74歳	378	6.3	21.2	19.6	6.3	6.9	0.5	2.1	5.3	3.2	54.5	1.1
	75～79歳	275	5.8	24.4	23.6	3.6	6.5	0.0	1.8	4.0	3.6	45.5	2.5
	80～84歳	175	4.6	21.7	24.6	2.9	4.0	1.1	1.1	4.6	2.9	48.0	2.3
	85～89歳	118	4.2	25.4	28.0	1.7	6.8	0.8	0.8	4.2	5.1	37.3	5.9
	90歳以上	64	1.6	15.6	14.1	1.6	4.7	0.0	0.0	1.6	3.1	60.9	6.3
健康状態別	健康である	853	6.4	17.7	14.7	3.4	5.7	0.2	1.9	5.7	3.3	59.4	1.4
	外出はひとりでできる	717	7.0	25.5	22.2	6.0	8.6	0.7	2.6	4.9	4.5	44.2	2.1
	外出はひとりでできない	99	5.1	28.3	32.3	8.1	4.0	0.0	3.0	3.0	3.0	38.4	3.0
	ベッドでの生活が主体	35	0.0	14.3	28.6	2.9	5.7	0.0	0.0	8.6	5.7	48.6	5.7
	一日中ベッドの上	7	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	0.0
住居形態別	持ち家一戸建て	797	1.8	25.7	23.5	4.4	0.0	0.3	1.1	0.4	3.8	54.6	1.9
	分譲マンション	448	6.7	13.8	15.0	3.6	1.3	0.0	2.0	7.6	3.3	61.6	1.1
	借家一戸建て	28	17.9	50.0	21.4	3.6	46.4	3.6	3.6	0.0	0.0	25.0	0.0
	民間の賃貸マンション、アパート	216	19.0	19.9	15.3	8.3	24.5	1.4	4.6	8.3	4.2	35.2	0.9
	市営・県営住宅	124	10.5	24.2	16.1	2.4	12.1	0.0	4.8	17.7	4.8	40.3	2.4
	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	76	14.5	23.7	18.4	5.3	39.5	1.3	3.9	19.7	6.6	25.0	0.0
	サービス付高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	13	0.0	0.0	7.7	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	7.7	61.5	7.7
	有料老人ホーム・ケアハウス	23	8.7	4.3	0.0	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	8.7	65.2	13.0
	その他	22	4.5	13.6	4.5	13.6	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	68.2	9.1

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」の割合が高くなっている。

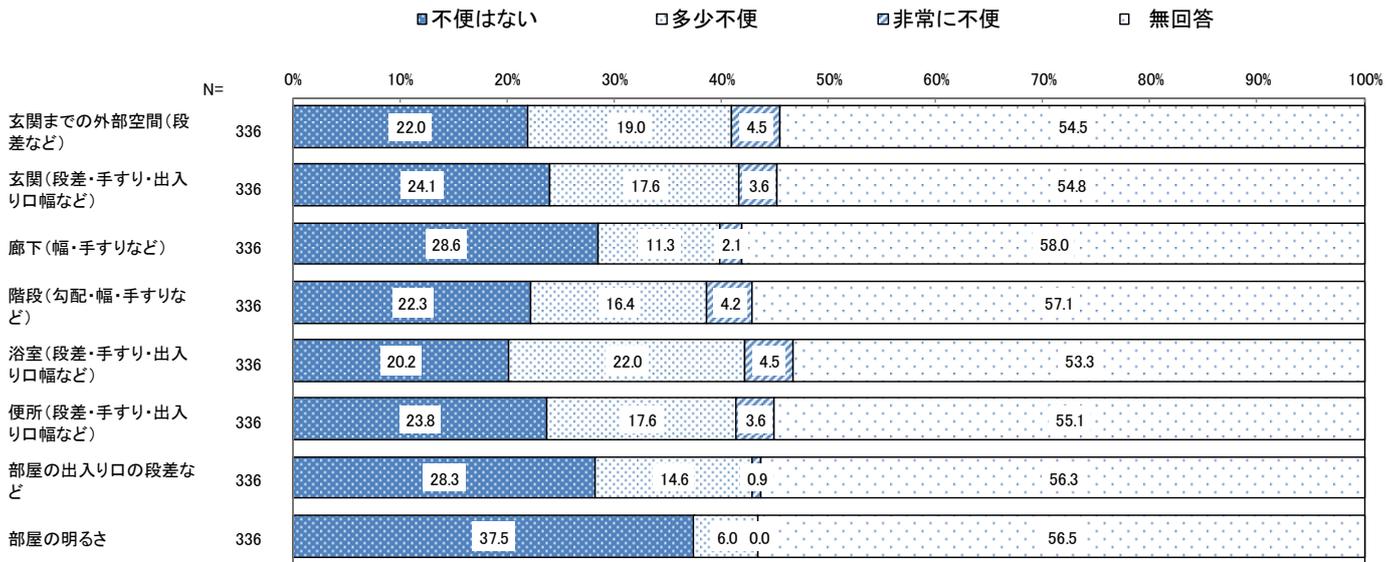
住居形態別にみると、借家一戸建てでは「老朽化している」「家賃が高い」の割合が、民間の賃貸マンション、アパートでは「せまい」「家賃が高い」の割合が他と比べて高くなっている。

②住まいの利便性について

【問9】で「3」と答えた方にうかがいます。

問9-1 あなたは、現在お住いの住宅について、次の①～⑧のそれぞれの項目をどのよう  
 感じていますか。(項目ごとに○は1つ)

【図表 3-2-3 住まいの利便性について】



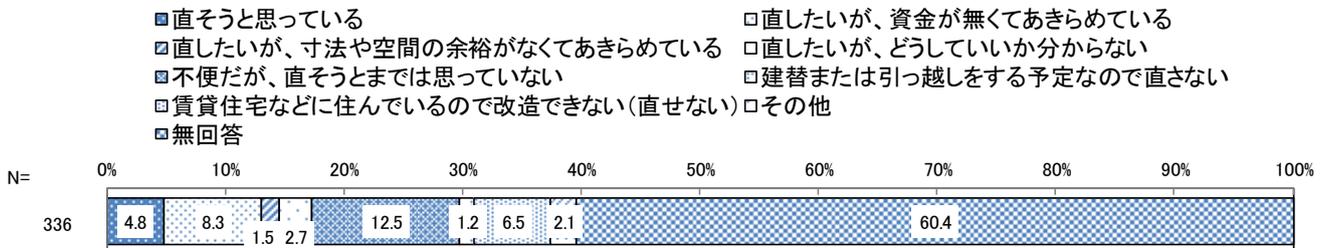
住まいの利便性について項目別に質問した結果、玄関までの外部空間(段差など)、浴室(段差・手すり・出入り口幅など)は、『不便』(「多少不便」と「非常に不便」の合計)の割合が「不便はない」の割合を上回っている。

③住まいのバリアフリー化への意向

【問9】で「3」と答えた方にうかがいます。

問9-2 あなたは、現在お住いの住宅で不便があると思っているところについて、どう  
 お考えですか。(○は1つ)

【図表 3-2-4 住まいのバリアフリー化への意向】



住まいのバリアフリー化への意向は、「不便だが、直そうとまでは思っていない」が12.5%と最も高く、次いで「直したいが、資金が無くてあきらめている」が8.3%となっている。

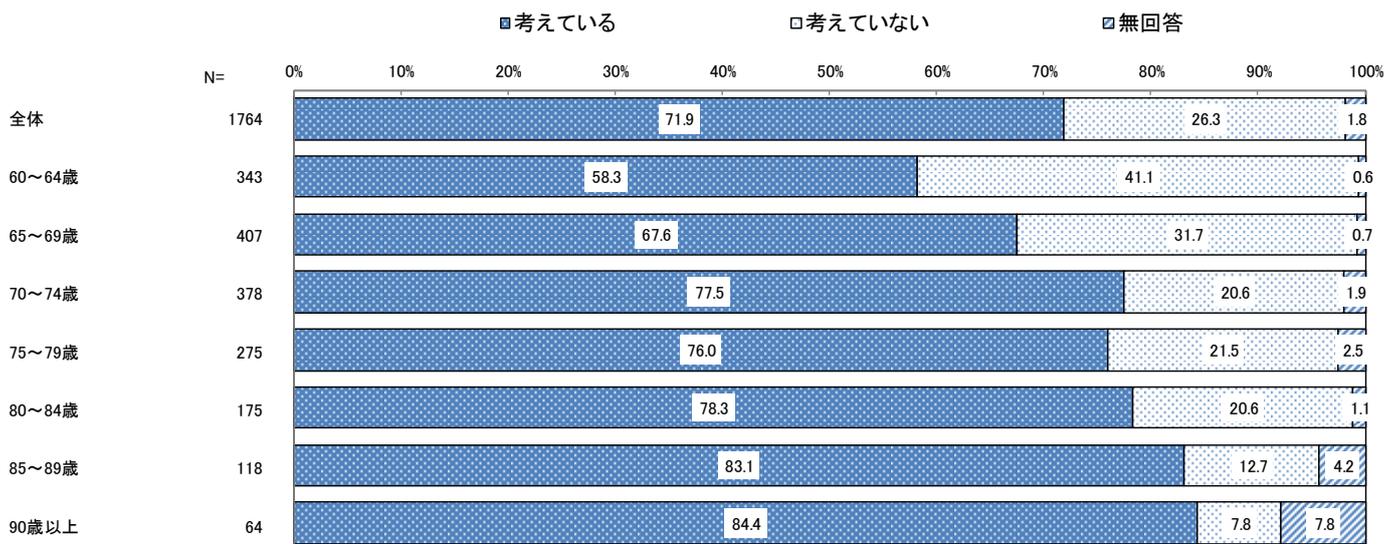
(3) 住み替え

①現在の住まいに亡くなるまで住み続ける意向

問 10 あなたは、現在のお住いに、亡くなるまで住み続けたいと考えていますか。

(○は1つ)

【図表 3-3-1 現在の住まいに亡くなるまで住み続ける意向×年齢別】



現在の住まいに亡くなるまで住み続ける意向は、「考えている」が 71.9%、「考えていない」が 26.3%となっている。

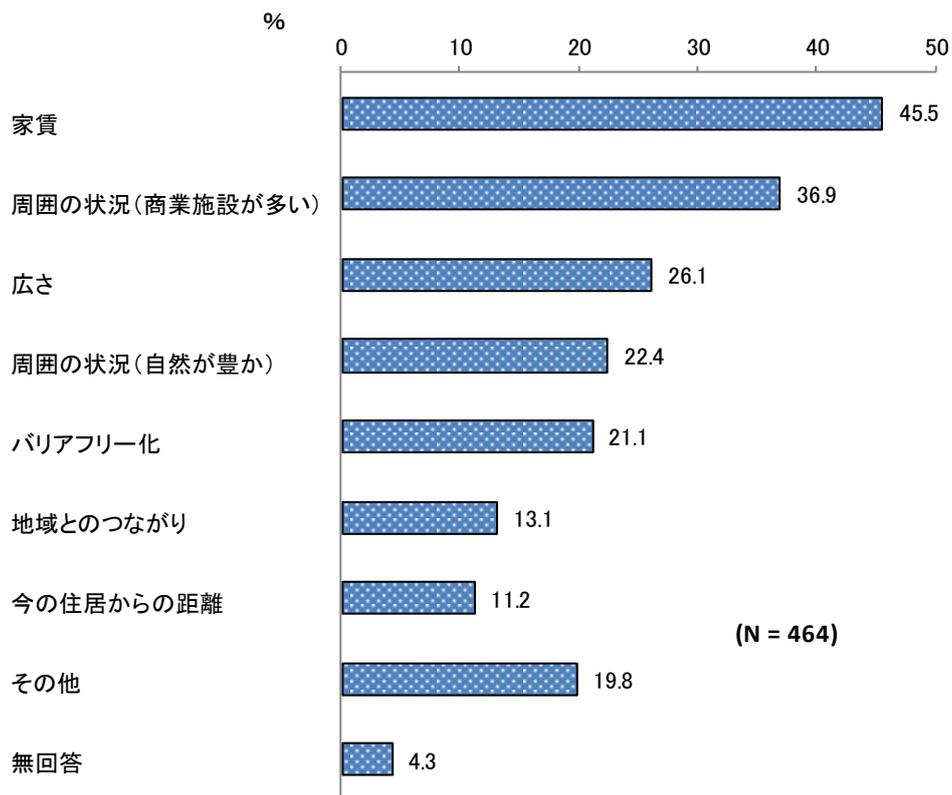
年齢別にみると、年齢が高くなるほど「考えている」の割合が高くなる傾向があり、90歳以上では 84.4%となっている。

## ② 住み替え時に重視すること

【問10】で「2」と答えた方にうかがいます。

問10-1 あなたは、住み替え時にはどんな事を重視して住まいを選びますか。  
(〇はいくつでも)

【図表 3-3-2 住み替え時に重視すること】



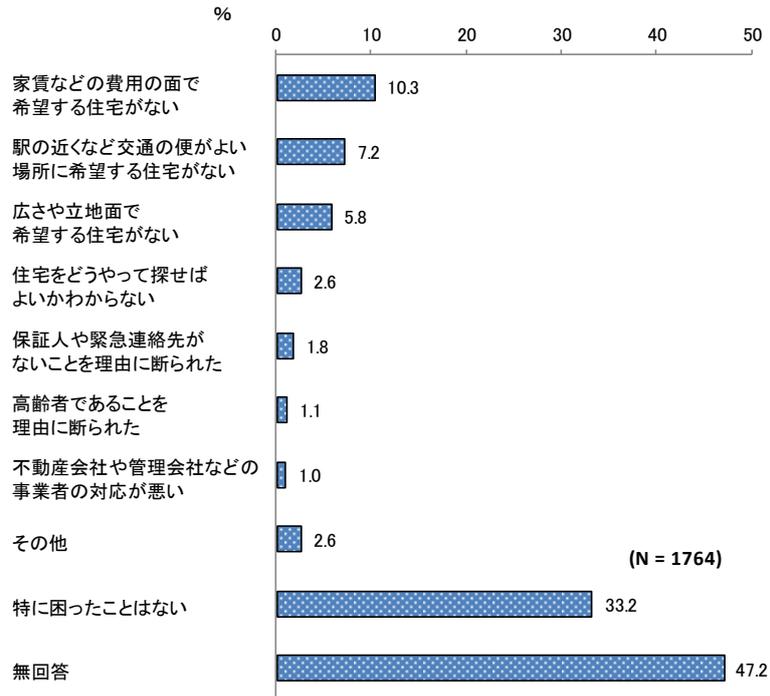
現在の住まいに亡くなるまで住み続ける意向のない人が住み替え時に重視することは、「家賃」が45.5%で最も高く、次いで「周囲の状況(商業施設が多い)」が36.9%、「広さ」が26.1%となっている。

(4) 住み替えで困ったこと

これまでに住宅を住み替えたことがある方、または現在住み替えを考えている方にうかがいます。

問 11 あなたは、住み替えにあたってどのようなことに困りましたか、または困っていませんか。(〇はいくつでも)

【図表 3-4-1 住み替えで困ったこと】



住み替えで困ったことは、「特に困ったことはない」が 33.2%で最も高く、次いで「家賃などの費用の面で希望する住宅がない」が 10.3%、「駅の近くなど交通の便がよい場所に希望する住宅がない」が 7.2%となっている。

【図表 3-4-2 住み替えで困ったこと×世帯構成別】

	回答数	(%)										
		いせ住宅をいどうわかつて探	いで家賃などの費用がな	す広さや立地で希望	す便駅の近くなど交通の希望	応社不	理高	断が保	そ	い特	無	
全体	1764	2.6	10.3	5.8	7.2	1.0	1.1	1.8	2.6	33.2	47.2	
世帯構成別	一人暮らし世帯	357	4.2	15.1	5.0	8.4	2.0	2.8	3.9	2.8	33.1	40.1
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	573	2.3	7.3	4.2	5.4	0.5	0.3	0.5	2.4	30.4	54.8
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	141	1.4	9.9	7.8	5.7	0.0	0.7	0.7	5.0	41.1	37.6
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	97	5.2	8.2	11.3	13.4	1.0	2.1	2.1	1.0	47.4	24.7
	あなたと他の高齢者のみの世帯	62	1.6	8.1	8.1	4.8	1.6	0.0	3.2	0.0	30.6	58.1
	二世帯同居世帯	316	1.3	8.9	6.3	7.6	1.3	0.6	2.2	3.2	36.4	45.3
	三世帯同居世帯	56	3.6	7.1	8.9	1.8	0.0	0.0	1.8	0.0	28.6	58.9
	その他の世帯	130	0.0	13.8	3.1	9.2	0.0	0.8	0.8	3.1	27.7	52.3

## 2. 健康・福祉などについて

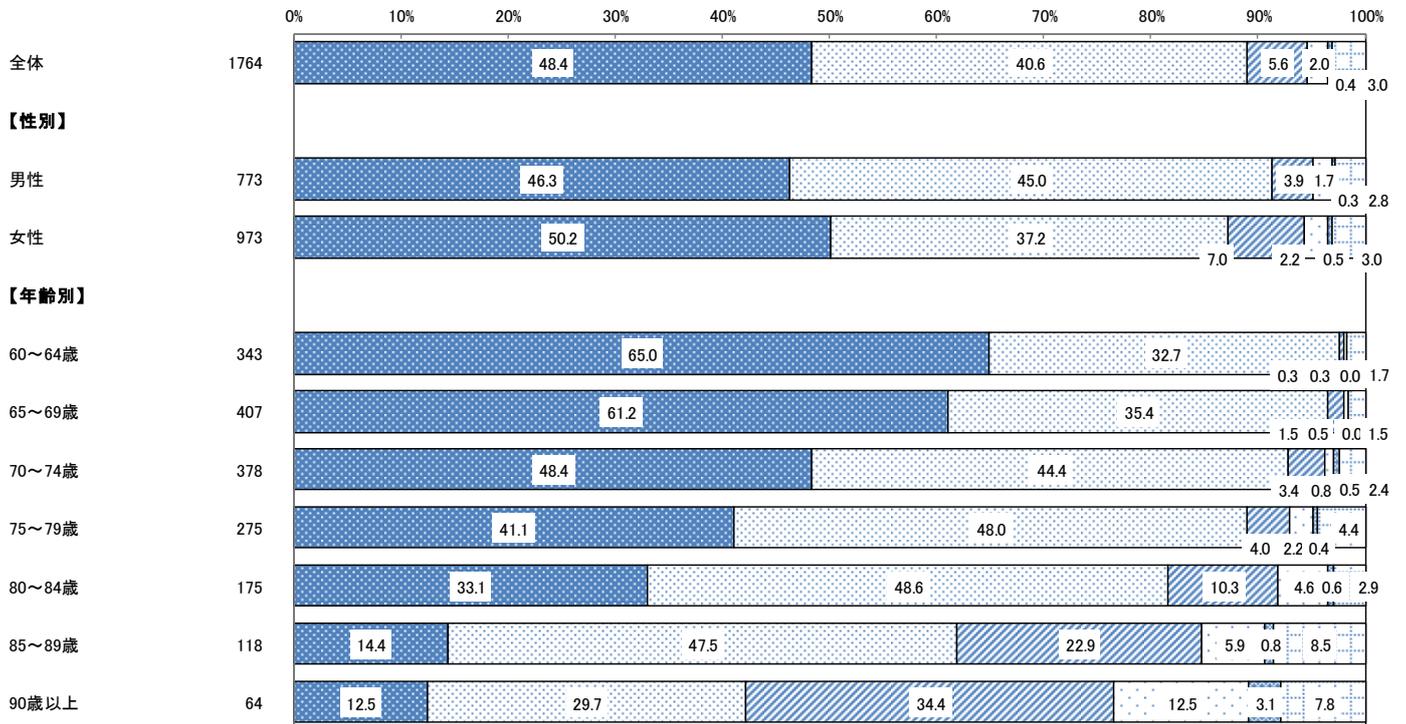
### (1) 健康と運動習慣

#### ①健康状態

問 12 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

【図表 3-5-1 健康状態×性別・年齢別】

- 健康で、普通に生活している
- 何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりで行える
- ▨家の中での生活はおおむね自分で行っているが、何らかの病気や障がいがあり、外出はひとりできない
- ▧病気や障がいがあるが、家の中での生活の多くに手助けが必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である
- ▩病気や障がいがあるが、家の中での生活全般に手助けが必要で、一日中ベッド(ふとん)の上にいる
- 無回答



健康状態は、「健康で、普通に生活している」が48.4%、「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりで行える」が40.6%となっており、合わせて89.0%の人が自立した生活を送っている。

性別にみると、男性の方が女性より「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりで行える」の割合が高くなっている。

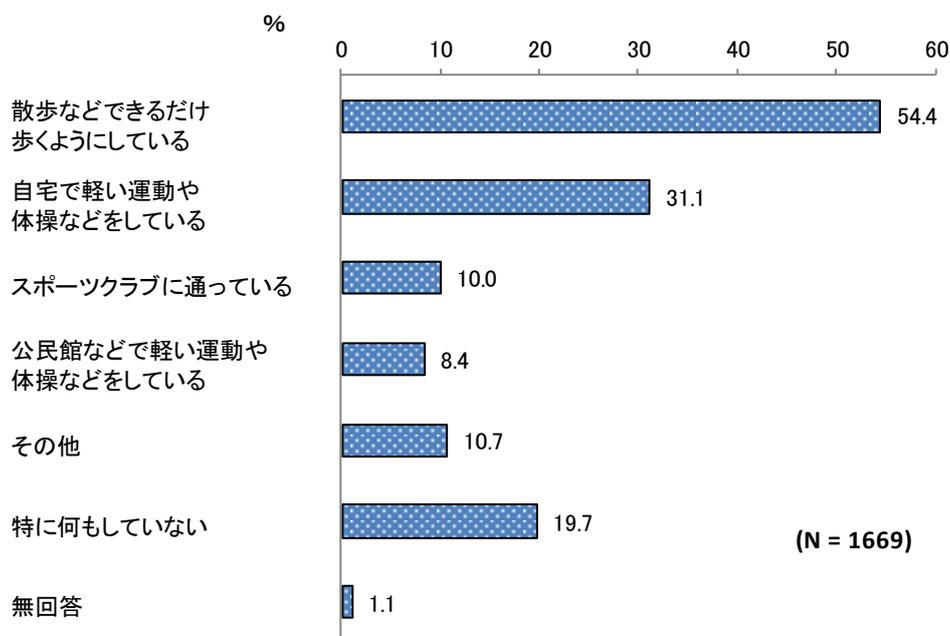
年齢別にみると、年齢が高くなるほど自立した生活をしている人の割合が減少している。

②運動習慣

【問 12】で「1」～「3」と答えた方にうかがいます。

問 12-1 健康づくりや介護予防のために、何か運動をしていますか。(○はいくつでも)

【図表 3-5-2 運動習慣】



運動習慣は、「散歩などできるだけ歩くようにしている」が 54.4%で最も高く、次いで「自宅で軽い運動や体操などを行っている」が 31.1%、「特に何もしていない」が 19.7%となっている。

【図表 3-5-3 運動習慣×性別・年齢別】

		回答数	散歩などできるだけ歩くようにしている	自宅で軽い運動や体操などを行っている	公民館などで軽い運動や体操などを行っている	スポーツクラブに通っている	その他	特に何もしていない	無回答
全体		1669	54.4	31.1	8.4	10.0	10.7	19.7	1.1
性別	男性	736	59.6	29.2	4.8	7.5	9.9	20.1	0.7
	女性	918	49.9	32.8	11.3	12.2	11.4	19.3	1.5
年齢別	60～64歳	336	46.7	22.3	4.8	11.6	7.7	29.8	0.3
	65～69歳	399	53.6	28.6	4.0	9.5	10.5	20.1	0.8
	70～74歳	364	53.8	32.7	11.8	11.0	11.3	19.5	0.3
	75～79歳	256	63.7	38.7	12.1	11.3	10.2	11.7	1.2
	80～84歳	161	56.5	39.1	10.6	8.1	13.0	12.4	3.1
	85～89歳	100	62.0	33.0	13.0	5.0	17.0	14.0	3.0
	90歳以上	49	44.9	26.5	6.1	6.1	12.2	26.5	6.1

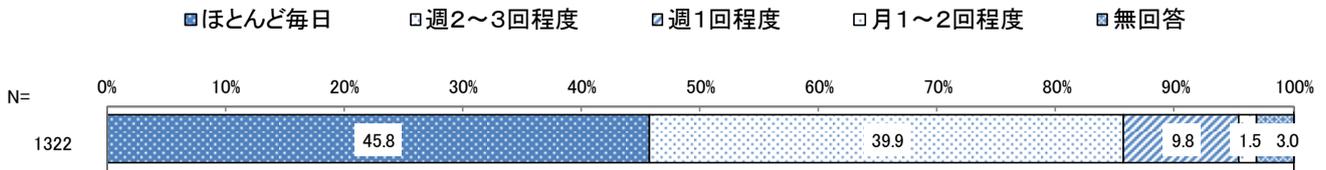
性別にみると、男性の方が女性より「散歩などできるだけ歩くようにしている」の割合が高くなっている。

③運動頻度

【問 12-1】で「1」～「5」と答えた方にうかがいます。

問 12-2 それほどのくらいの頻度でしていますか。(○は1つ)

【図表 3-5-4 運動頻度】



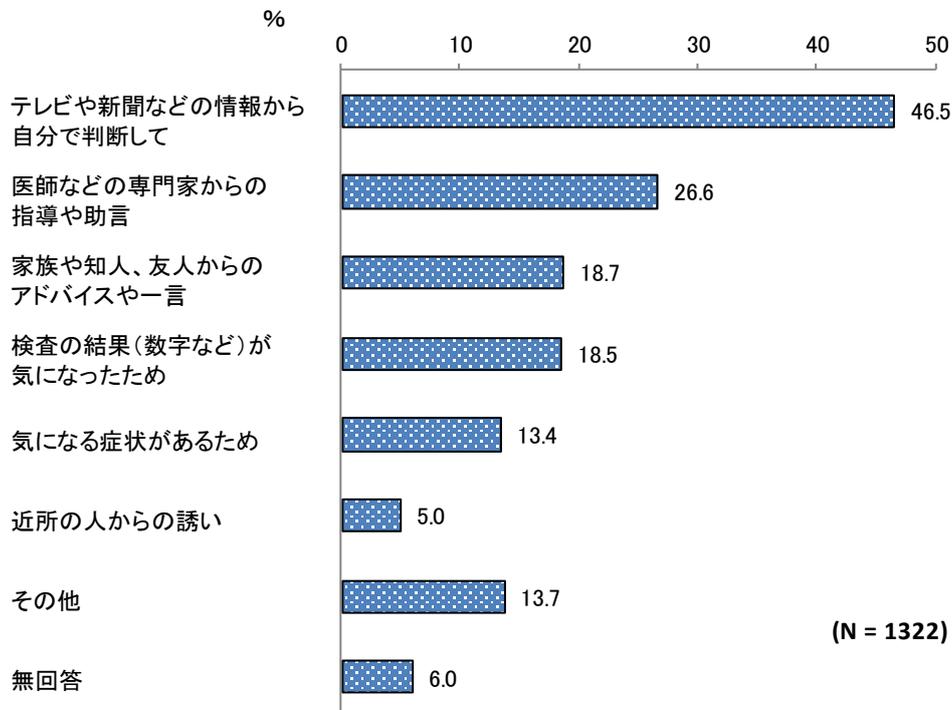
運動頻度は、「ほとんど毎日」が 45.8% で最も高く、次いで「週 2～3 回程度」が 39.9%、「週 1 回程度」が 9.8% となっている。

④運動に取り組むきっかけ

【問 12-1】で「1」～「5」と答えた方にうかがいます。

問 12-3 健康づくりや介護予防のために運動に取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

【図表 3-5-5 運動に取り組むきっかけ】



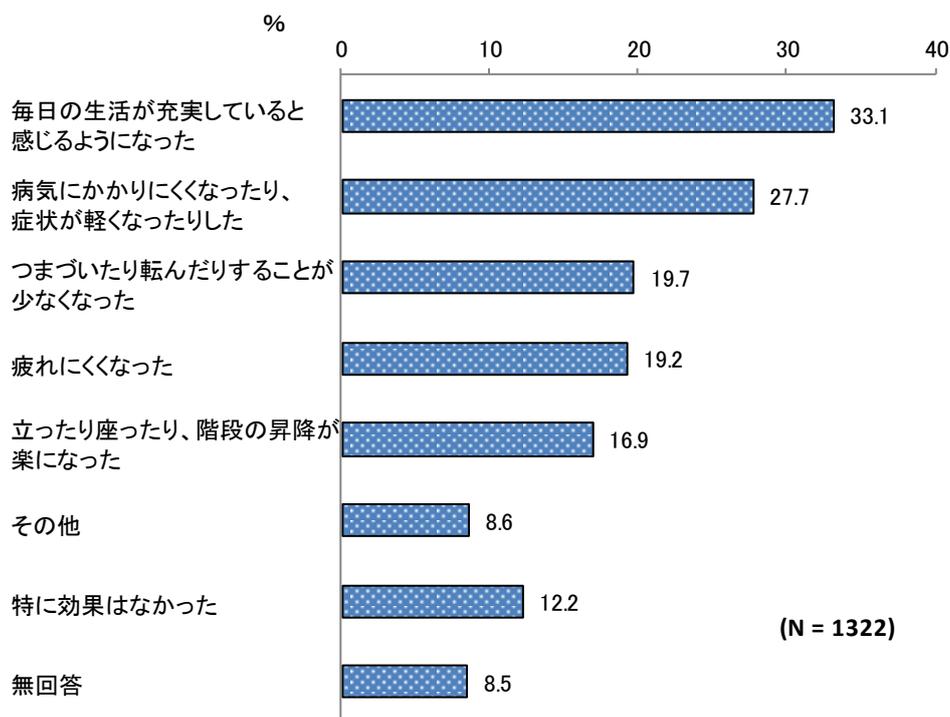
運動に取り組むきっかけは、「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」が 46.5% で最も高く、次いで「医師などの専門家からの指導や助言」が 26.6% となっている。

⑤運動の効果

【問 12-1】で「1」～「5」と答えた方にうかがいます。

問 12-4 健康づくりや介護予防のために何か運動に取り組むことで、どのような効果があったと感じていますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-5-6 運動の効果】



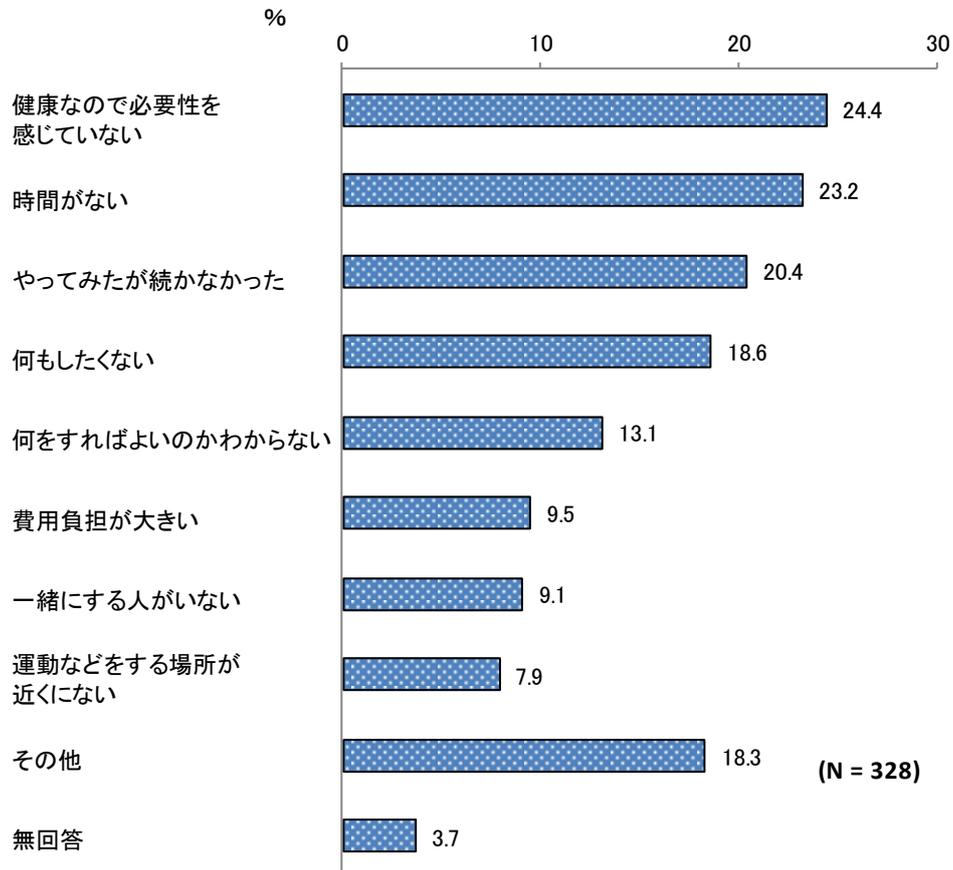
運動の効果は、「毎日の生活が充実していると感じるようになった」が 33.1%で最も高く、次いで「病気にかかりにくくなったり、症状が軽くなったりした」が 27.7%となっている。

## ⑥運動をしていない理由

【問12-1】で「6」と答えた方にうかがいます。

問12-5 何もしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表3-5-7 運動をしていない理由】



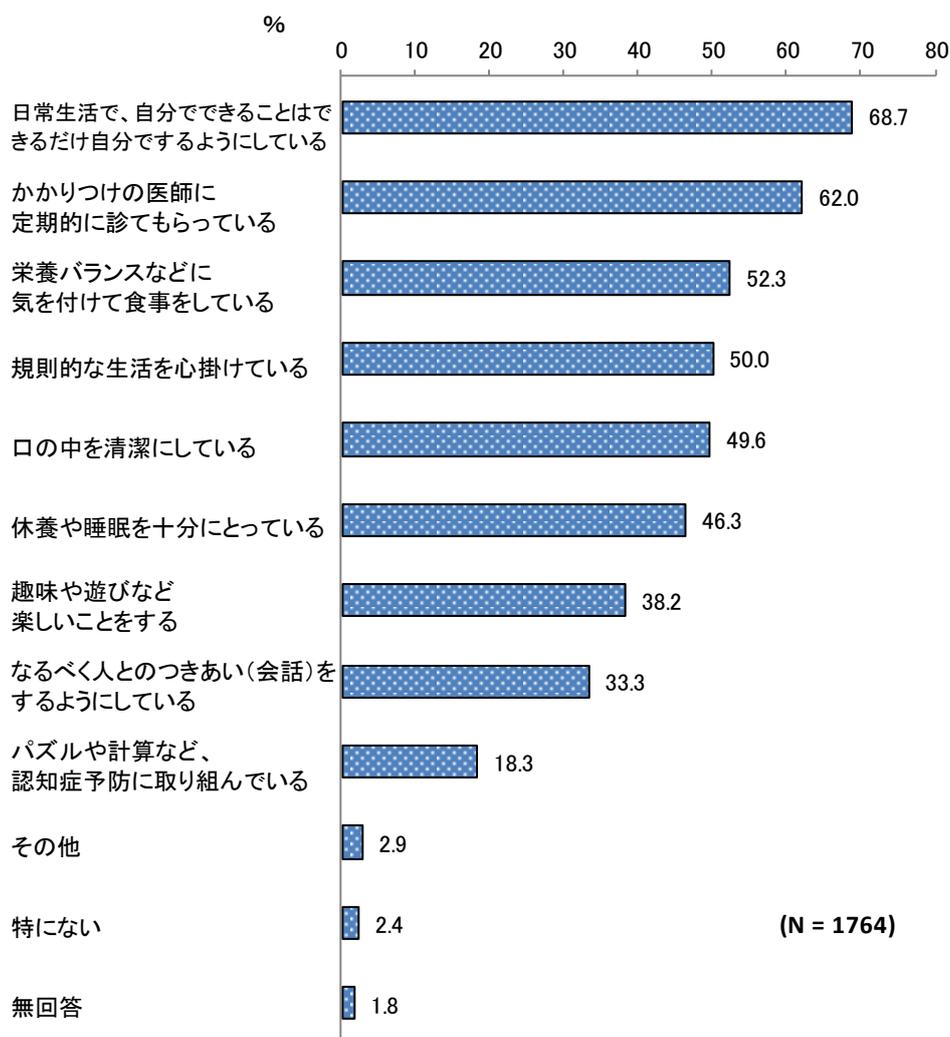
運動をしていない理由は、全体で「健康なので必要性を感じていない」が24.4%で最も高く、次いで「時間がない」が23.2%、「やってみたが続かなかった」が20.4%となっている。

(2) 運動以外の健康づくり習慣

① 運動以外で気を付けていること

問 13 健康づくりや介護予防のために、運動以外で気を付けていることはありますか。  
(○はいくつでも)

【図表 3-6-1 運動以外で気を付けていること】



運動以外で気を付けていることは、「日常生活で、自分でできることはできるだけ自分でするようにしている」が 68.7%で最も高く、次いで「かかりつけの医師に定期的に診てもらっている」が 62.0%、「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」が 52.3%となっている。

【図表 3-6-2 運動以外で気を付けていること×性別・年齢別・健康状態別】

		回答数	定期的に診てもらっているかかりつけの医師に	日常生活で、自分でできること、できるようにしている	口の中を清潔にしている	休養や睡眠を十分に取っている	規則的な生活を心掛けている	栄養バランスなどに気を付けて食事をして
全体		1764	62.0	68.7	49.6	46.3	50.0	52.3
性別	男性	773	63.1	61.2	43.1	45.8	45.8	46.7
	女性	973	61.3	74.7	55.2	46.9	53.6	57.0
年齢別	60～64歳	343	46.9	60.3	48.4	37.9	45.2	51.9
	65～69歳	407	52.6	64.1	47.7	45.2	51.8	51.4
	70～74歳	378	64.6	72.0	50.8	48.1	51.1	55.8
	75～79歳	275	75.6	77.1	56.7	52.0	48.7	55.3
	80～84歳	175	74.3	73.1	48.6	49.1	53.1	50.9
	85～89歳	118	77.1	72.9	47.5	47.5	50.8	49.2
	90歳以上	64	67.2	64.1	37.5	50.0	51.6	34.4
健康状態別	健康である	853	47.0	67.1	51.0	46.0	52.3	55.3
	外出はひとりできる	717	78.1	72.5	49.2	46.7	50.3	51.5
	外出はひとりできない	99	70.7	67.7	45.5	51.5	35.4	40.4
	ベッドでの生活が主体	35	77.1	48.6	42.9	42.9	42.9	31.4
	一日中ベッドの上	7	71.4	0.0	42.9	14.3	28.6	28.6

		認知症予防に算取り組、パズルや防犯など、	趣味や遊びなど楽しむ	なるべく人とのつきあいをしている	その他	特にな	無回答
全体		18.3	38.2	33.3	2.9	2.4	1.8
性別	男性	14.0	37.5	25.2	2.3	2.8	1.2
	女性	21.9	39.0	39.9	3.4	2.1	2.2
年齢別	60～64歳	12.2	38.5	26.8	2.6	5.2	0.9
	65～69歳	15.0	40.0	29.2	3.2	2.9	1.5
	70～74歳	20.1	40.5	33.1	2.1	2.1	1.1
	75～79歳	21.5	40.7	42.9	2.9	0.7	1.1
	80～84歳	23.4	36.6	36.6	2.9	0.6	3.4
	85～89歳	25.4	28.8	38.1	2.5	1.7	4.2
	90歳以上	20.3	18.8	35.9	7.8	0.0	7.8
健康状態別	健康である	17.2	42.4	36.3	2.9	3.5	1.1
	外出はひとりできる	19.1	38.9	31.5	2.1	1.3	1.0
	外出はひとりできない	24.2	13.1	24.2	4.0	3.0	2.0
	ベッドでの生活が主体	20.0	11.4	20.0	8.6	2.9	11.4
	一日中ベッドの上	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0

性別にみると、女性の方が男性より「日常生活で、自分でできることはできるだけ自分でするようにしている」「口の中を清潔にしている」「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」「なるべく人とのつきあい（会話）をするようにしている」の割合が高くなっている。

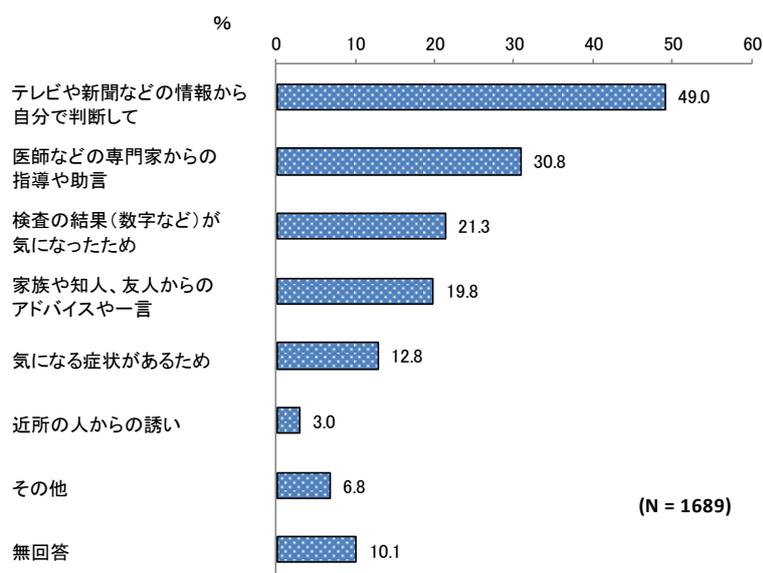
健康状態別にみると、健康状態が良い状態であるほど「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」「趣味や遊びなど楽しいことをする」「なるべく人とのつきあい（会話）をするようにしている」の割合が高くなっている。

②運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ

【問 13】で「1」～「10」と答えた方にうかがいます。

問 13-1 健康づくりや介護予防のために運動以外のことに取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-6-3 運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ】



運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけは、「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」が 49.0%で最も高く、次いで「医師などの専門家からの指導や助言」が 30.8%、「検査の結果（数字など）が気になったため」が 21.3%となっている。

【図表 3-6-4 運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ×性別・年齢別】

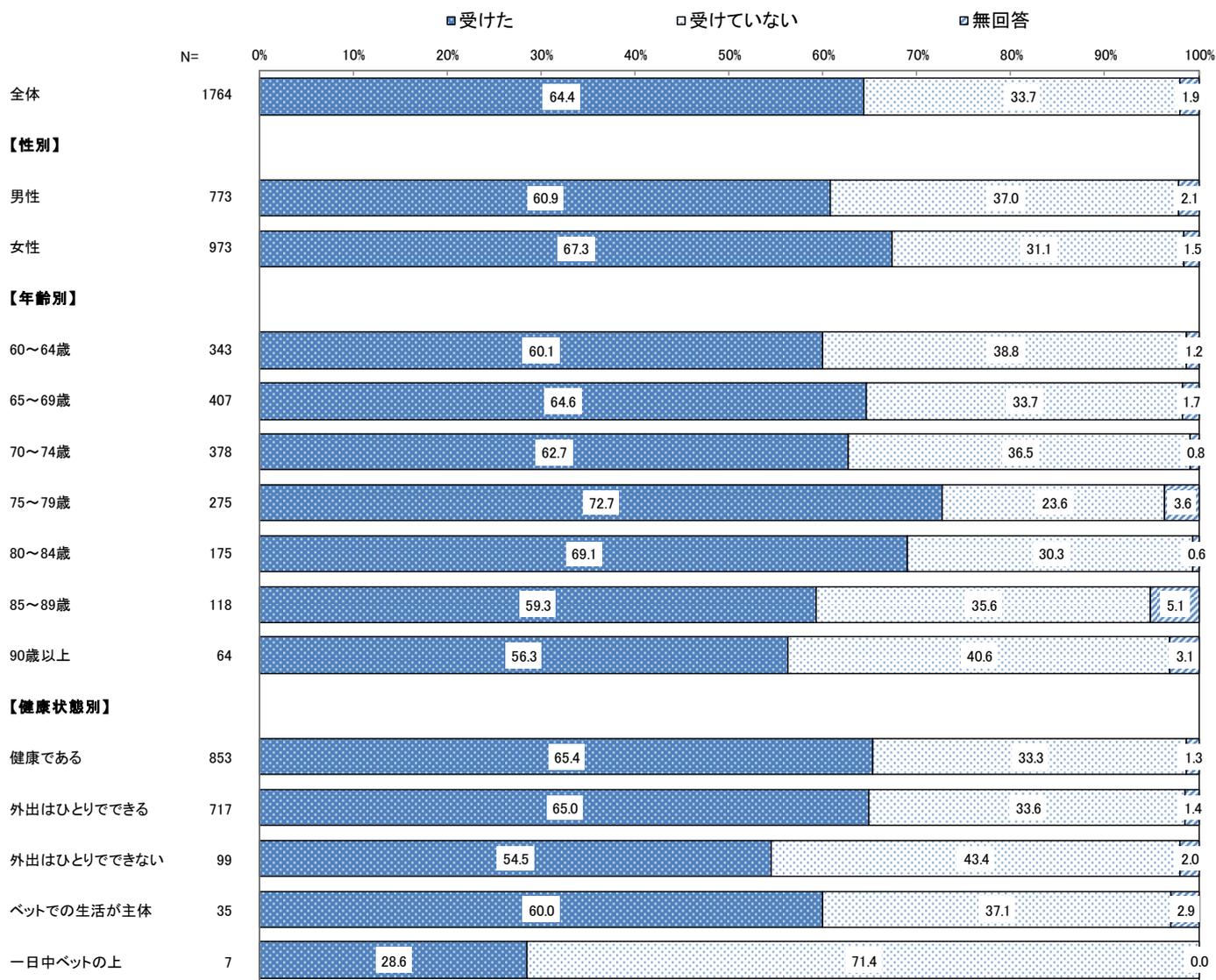
		回答数	医師などの専門家からの指導や助言	テレビや新聞などから自分で判断	家族や知人、友人からのアドバイスや一言	近所の人からの誘い	検査の結果(数字など)が気になったため	気になる症状があるため	その他	無回答
全体		1689	30.8	49.0	19.8	3.0	21.3	12.8	6.8	10.1
性別	男性	742	36.1	45.7	17.8	1.5	24.4	13.3	6.5	9.3
	女性	932	26.4	51.5	21.5	4.2	19.0	12.2	7.0	10.6
年齢別	60～64歳	322	25.2	54.3	17.1	0.6	28.3	12.4	6.8	5.0
	65～69歳	389	27.0	52.7	19.8	1.3	26.7	11.3	7.5	8.0
	70～74歳	366	31.7	47.0	21.0	4.4	18.6	14.2	8.2	9.3
	75～79歳	270	29.3	47.8	21.1	4.4	18.5	13.3	7.4	17.0
	80～84歳	168	41.7	45.2	15.5	6.5	19.6	13.1	3.0	13.7
	85～89歳	111	45.0	45.9	21.6	2.7	10.8	13.5	4.5	8.1
	90歳以上	59	32.2	28.8	27.1	1.7	1.7	10.2	5.1	18.6

性別にみると、男性の方が女性より「医師などの専門家からの指導や助言」の割合が高くなっている。

(3) 歯科の定期検診の有無

問 14 あなたは、この1年間の中に、歯科の定期健診を受けましたか。(○は1つ)

【図表 3-7-1 歯科の定期検診の有無×性別・年齢別・健康状態別】

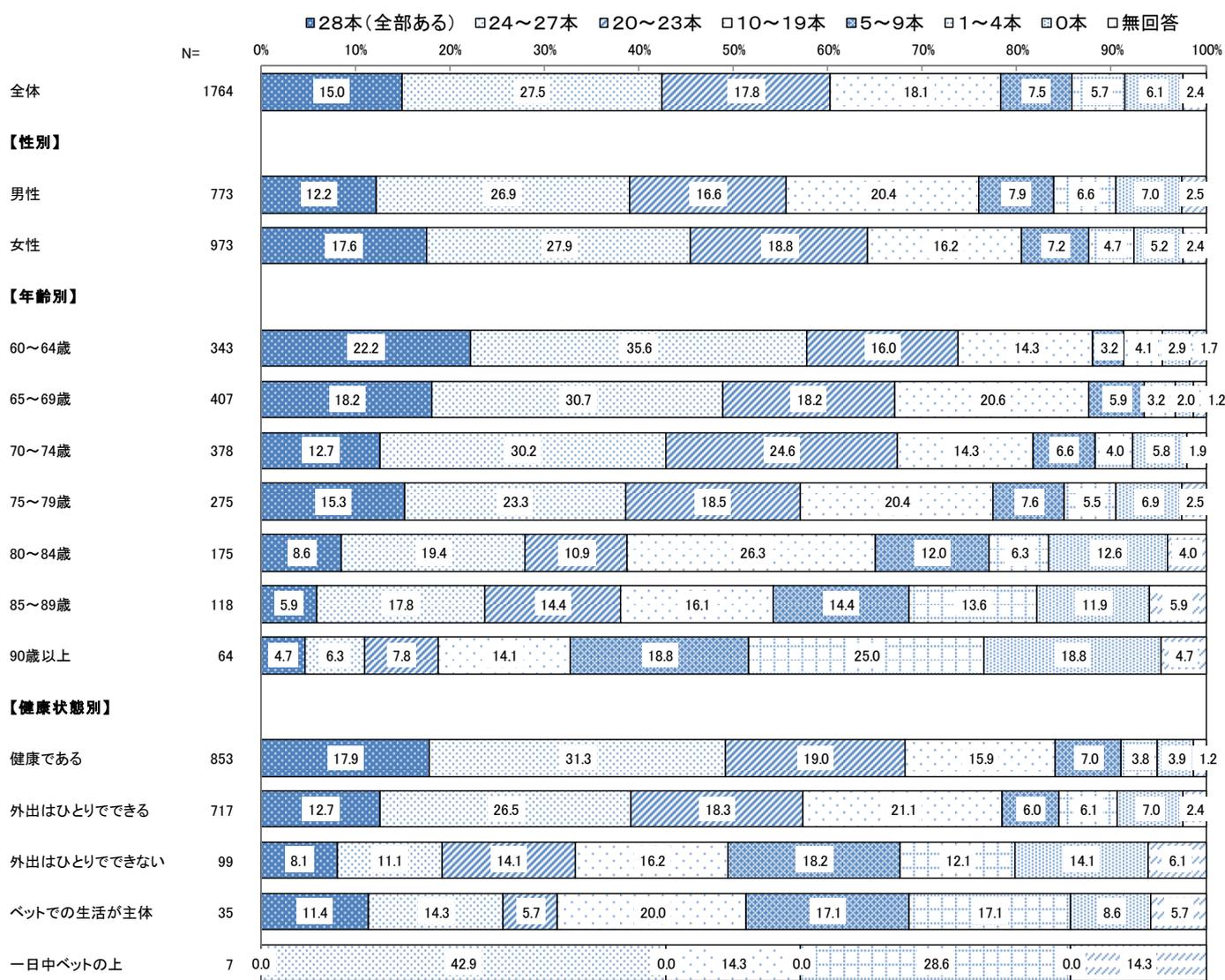


歯科の定期検診の有無は、「受けた」が64.4%、「受けていない」が33.7%となっている。健康状態別にみると、一日中ベッドの上の人は「受けていない」の割合が高くなっている。

(4) 歯の本数

問 15 あなた自身の歯は何本ありますか。親知らず、入れ歯、ブリッジ（取り外しできない入れ歯）、インプラントは含みません。さし歯や金属をかぶせた歯はあなた自身の歯として数えます。（〇は1つ）

【図表 3-8-1 歯の本数×性別・年齢別・健康状態別】



歯の本数は、「24～27本」が27.5%で最も高く、次いで「10～19本」が18.1%、「20～23本」が17.8%となっている。

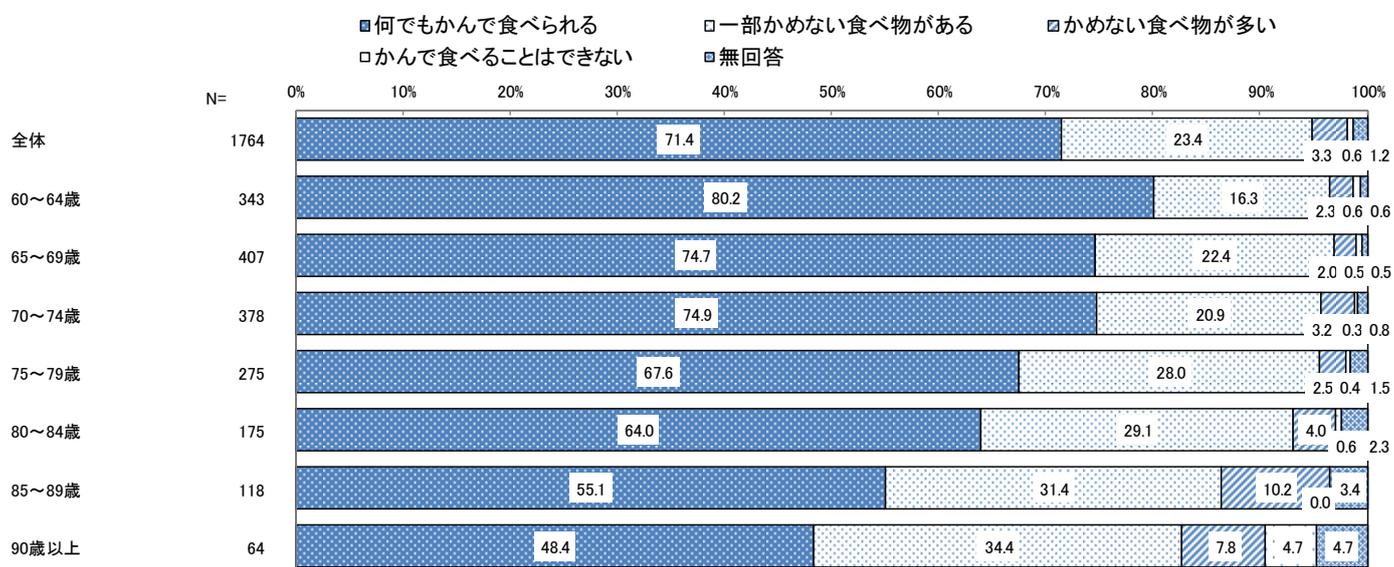
年齢別にみると、年齢が高くなるほど歯の本数は減少傾向にある。

健康状態別にみると、健康であるほど歯の本数も多い傾向がある。

(5) 咀嚼の状況

問 16 あなたは、どの程度、かんで食べることができますか。(○は1つ)

【図表 3-9-1 咀嚼の状況×年齢別】



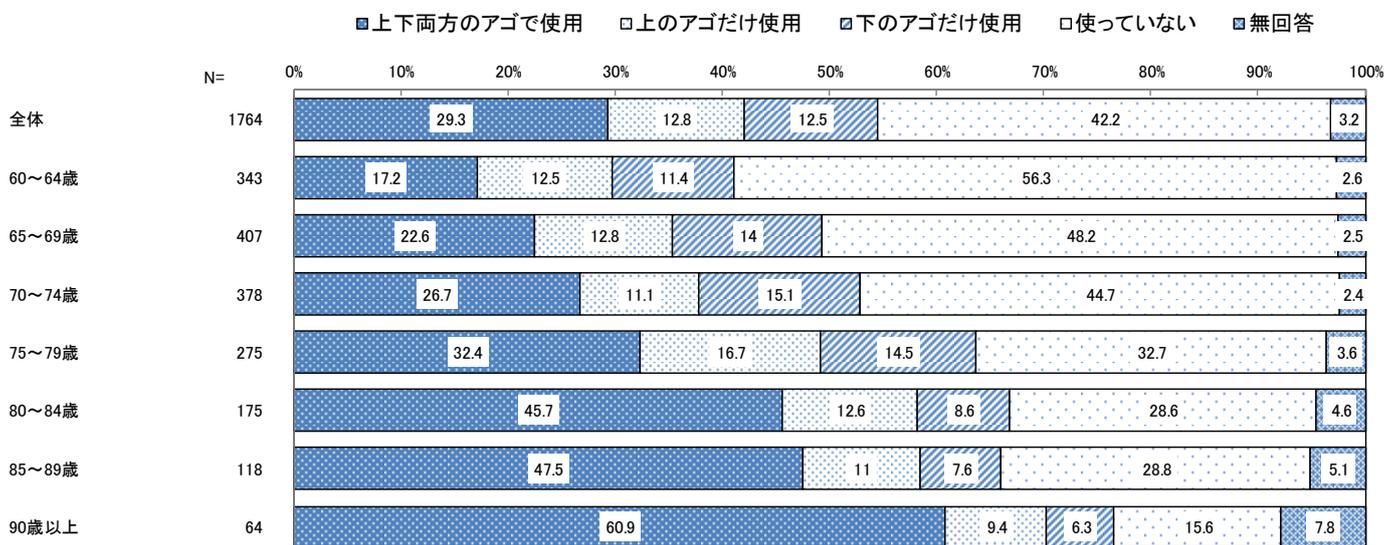
咀嚼の状況は、「何でもかんで食べられる」が 71.4%で最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が 23.4%、「かめない食べ物が多い」が 3.3%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「何でもかんで食べられる」の割合は低くなる傾向があり、90歳以上では 48.4%となっている。

(6) 入れ歯・ブリッジの使用状況

問 17 あなたは、入れ歯やブリッジを使っていますか。(○は1つ)

【図表 3-10-1 入れ歯・ブリッジの使用状況×年齢別】



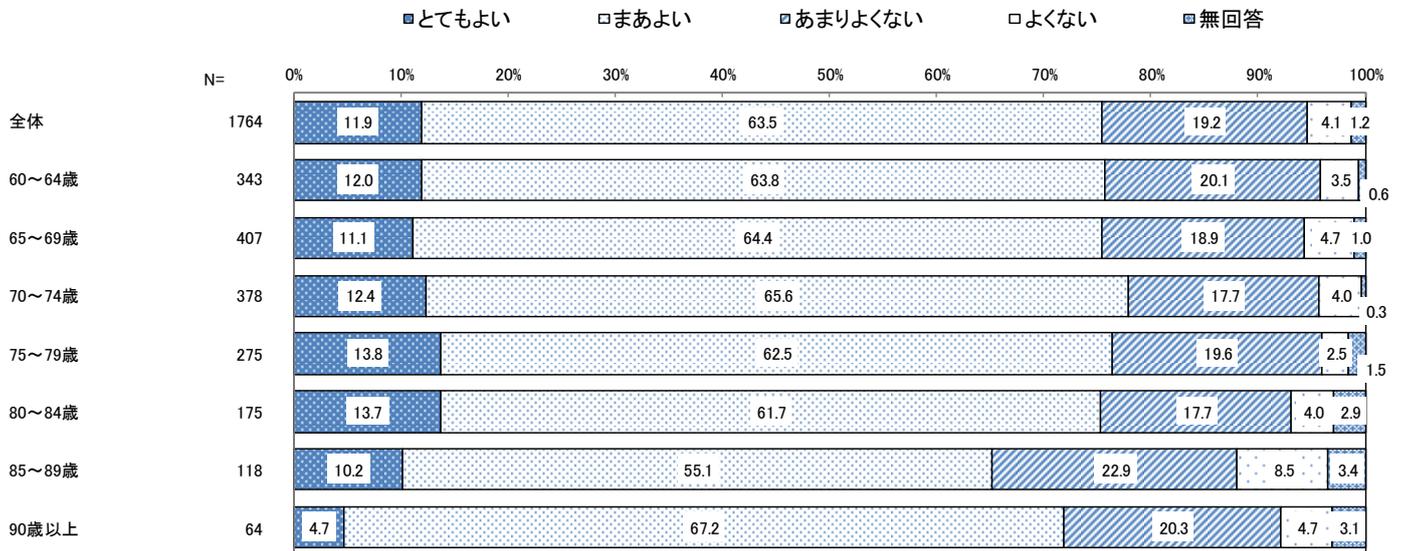
入れ歯・ブリッジの使用状況は、「使っていない」が 42.2%で最も高く、次いで「上下両方のアゴで使用」が 29.3%、「上のアゴだけ使用」が 12.8%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「上下両方のアゴで使用」の割合が高くなっており、90歳以上では 60.9%となっている。

(7) 口腔の健康状態

問 18 あなたのお口（歯や歯ぐき，入れ歯）の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

【図表 3-11-1 口腔の健康状態×年齢別】



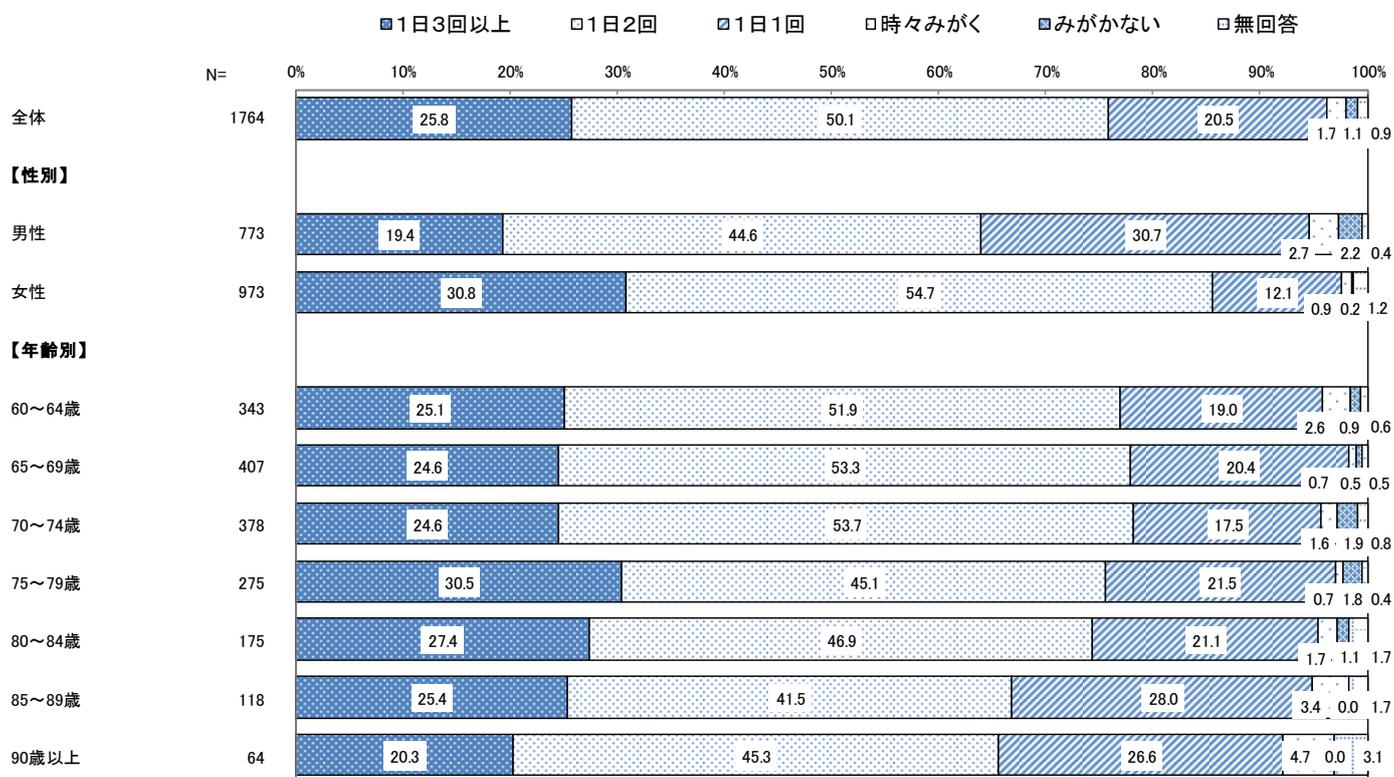
口腔の健康状態は、「まあよい」が 63.5%で最も高く、次いで「あまりよくない」が 19.2%、「とてもよい」が 11.9%となっている。

年齢別にみると、90歳以上では「とてもよい」の割合が 4.7%と、他と比べて低くなっている。

(8) 歯みがきの頻度

問 19 あなたの歯みがきの頻度をお答えください。(○は1つ)

【図表 3-12-1 歯みがきの頻度×性別・年齢別】



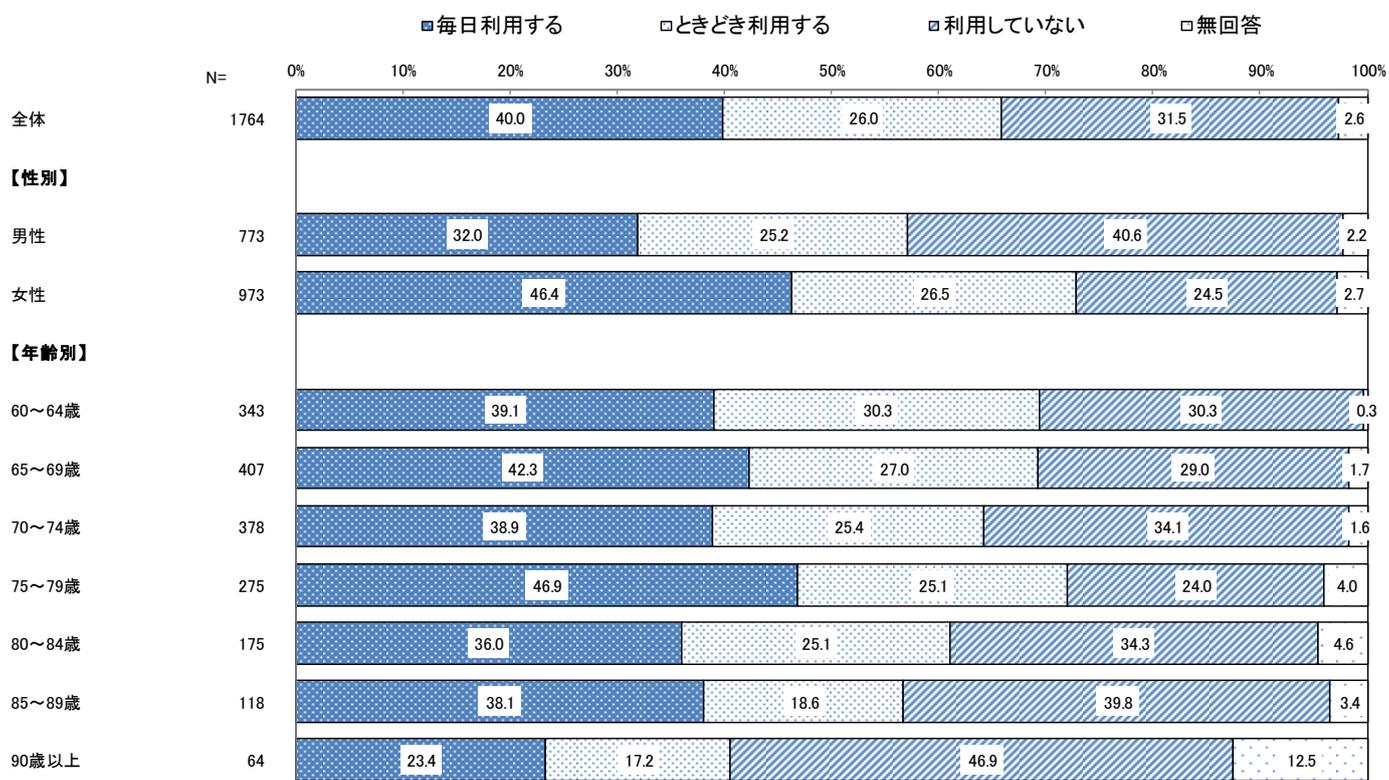
歯みがきの頻度は、「1日2回」が50.1%で最も高く、次いで「1日3回以上」が25.8%、「1日1回」が20.5%となっている。

性別にみると、女性の方が男性よりも「1日3回以上」の割合が高くなっている。

## (9) 歯間部清掃用器具の使用状況

問 20 あなたは、歯間ブラシやデンタルフロスを利用していますか。(○は1つ)

【図表 3-13-1 歯間部清掃用器具の使用状況×性別・年齢別】



歯間部清掃用器具の使用状況は、「毎日利用する」が40.0%で最も高く、次いで「利用していない」が31.5%、「ときどき利用する」が26.0%となっている。

性別にみると、男性の方が女性より「利用していない」の割合が高く、女性の方が男性より「毎日利用する」の割合が高くなっている。

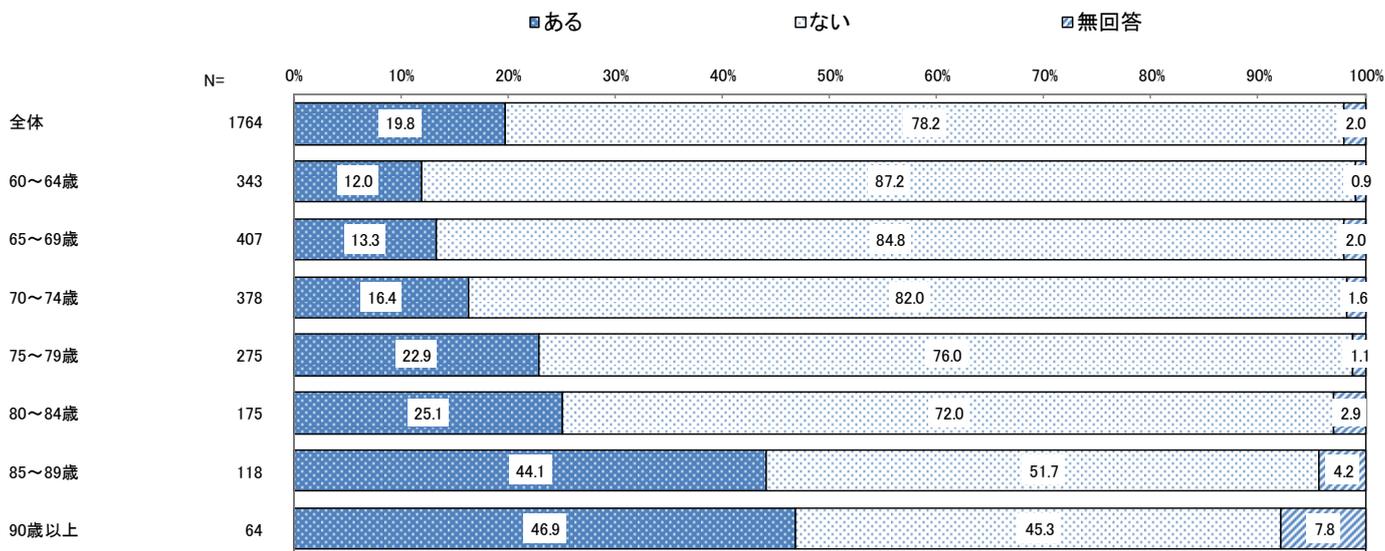
年齢別にみると、90歳以上では「利用していない」の割合が46.9%と半数近くになっている。

(10) 認知症

① 認知症への不安

問 21 物忘れが多く、認知症ではないかと心配になることがありますか。(○は1つ)

【図表 3-14-1 認知症への不安×年齢別】



認知症への不安は、「ある」が 19.8%、「ない」が 78.2%となっている。  
年齢別にみると、年齢が高くなるほど「ある」の割合が高くなっている。

【図表 3-14-2 認知症への不安×年齢別・要介護度別・健康状態別】

		回答数	ある	ない	無回答
全体		1764	19.8	78.2	2.0
年齢別	60～64歳	343	12.0	87.2	0.9
	65～69歳	407	13.3	84.8	2.0
	70～74歳	378	16.4	82.0	1.6
	75～79歳	275	22.9	76.0	1.1
	80～84歳	175	25.1	72.0	2.9
	85～89歳	118	44.1	51.7	4.2
	90歳以上	64	46.9	45.3	7.8
要介護度別	要介護認定の申請はしていない	1428	16.1	82.6	1.3
	要介護認定を申請したが、非該当(自立)だった	8	37.5	62.5	0.0
	要支援1	49	46.9	51.0	2.0
	要支援2	44	34.1	63.6	2.3
	要介護1	30	60.0	36.7	3.3
	要介護2	27	48.1	51.9	0.0
	要介護3	15	80.0	13.3	6.7
	要介護4	17	41.2	52.9	5.9
	要介護5	7	42.9	42.9	14.3
わからない	75	16.0	81.3	2.7	
健康状態別	健康である	853	12.3	86.2	1.5
	外出はひとりできる	717	22.0	76.6	1.4
	外出はひとりできない	99	48.5	50.5	1.0
	ベッドでの生活が主体	35	45.7	48.6	5.7
	一日中ベッドの上	7	57.1	28.6	14.3

要介護度別にみると、要介護1、要介護3の人では「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。

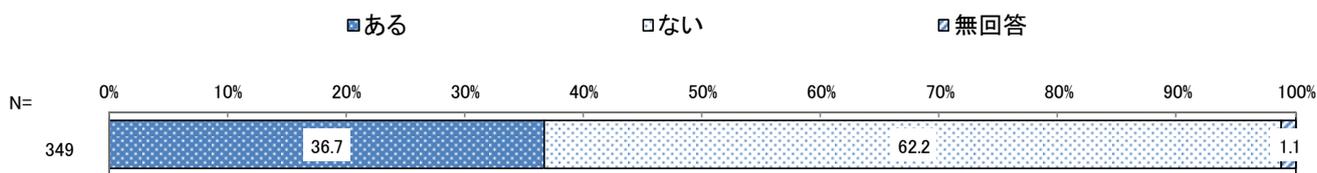
健康状態別にみると、一日中ベッドの上の人では「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。

② 認知症についての相談の有無

【問 21】で「1」と答えた方にうかがいます。

問 21-1 認知症について誰かに相談したことはありますか。(○は1つ)

【図表 3-14-3 認知症についての相談の有無】



認知症についての相談の有無は、「ある」が36.7%、「ない」が62.2%となっている。

【図表 3-14-4 認知症についての相談の有無×性別・年齢別】

		回答数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		349	36.7	62.2	1.1
性別	男性	128	28.9	70.3	0.8
	女性	214	41.6	57.0	1.4
年齢別	60～64歳	41	24.4	73.2	2.4
	65～69歳	54	25.9	74.1	0.0
	70～74歳	62	37.1	62.9	0.0
	75～79歳	63	33.3	66.7	0.0
	80～84歳	44	34.1	63.6	2.3
	85～89歳	52	55.8	42.3	1.9
	90歳以上	30	53.3	43.3	3.3

性別にみると、女性の方が男性より「ある」の割合が高くなっている。

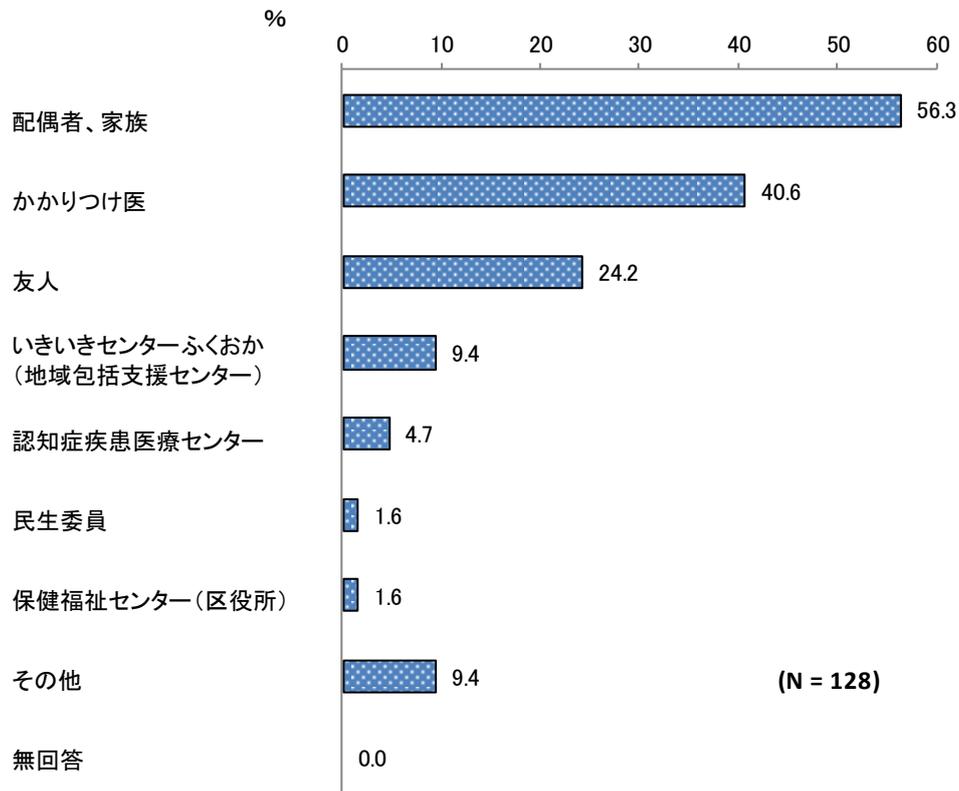
年齢別にみると、85歳以上では「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。

## ③ 認知症についての相談先

【問 21-1】で「1」と答えた方にうかがいます。

問 21-2 誰に相談しましたか。(〇はいくつでも)

【図表 3-14-5 認知症についての相談先】

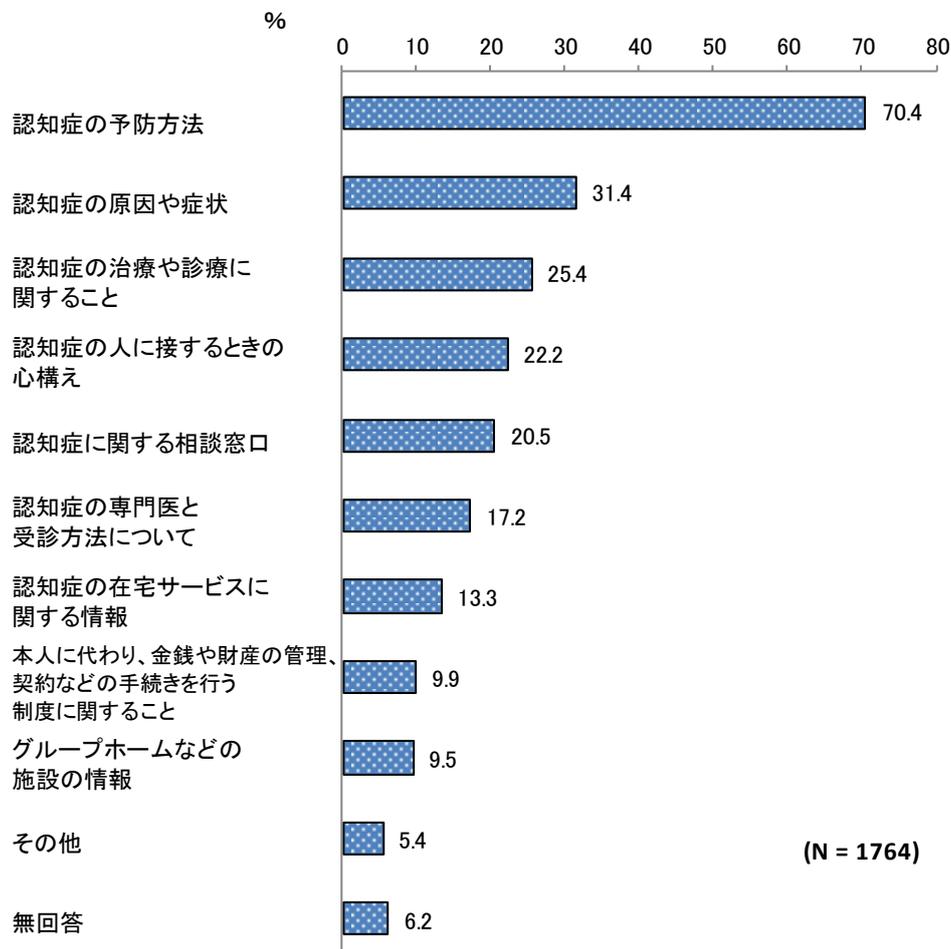


認知症についての相談先は、「配偶者、家族」が 56.3%で最も高く、次いで「かかりつけ医」が 40.6%となっている。

(11) 認知症に関して知りたい内容

問 22 認知症に関してどのようなことが知りたいですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-15-1 認知症に関して知りたい内容】

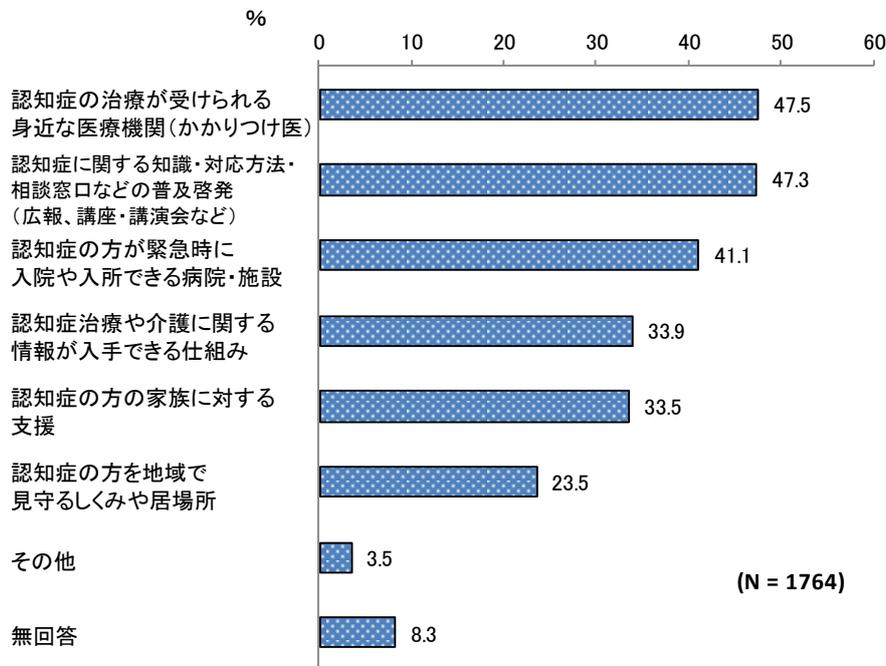


認知症に関して知りたい内容は、「認知症の予防方法」が 70.4%で最も高く、次いで「認知症の原因や症状」が 31.4%、「認知症の治療や診療に関すること」が 25.4%となっている。

(12) 認知症対策として充実してほしいこと

問 23 認知症対策として充実した方がよいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-16-1 認知症対策として充実してほしいこと】



認知症対策として充実してほしいことは、「認知症の治療が受けられる身近な医療機関(かかりつけ医)」が 47.5%で最も高く、次いで「認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発(広報、講座・講演会など)」が 47.3%、「認知症の方が緊急時に入院や入所できる病院・施設」が 41.1%となっている。

【図表 3-16-2 認知症対策として充実してほしいこと×性別・年齢別】

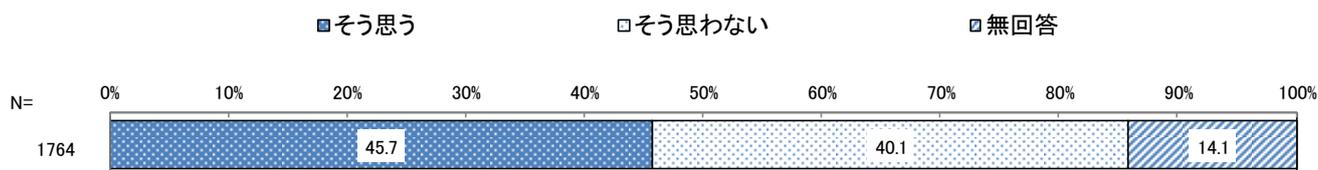
		回答数	会(窓識認 など口・知 報・口・症 、対・に 講座普方 ・及・する 演発・相 演発・談	関ら認 (かか身 かり近 つけな 医医 機機)	き関認 るす知 仕る症 組情治 み報療 がや 入介 手護 でに	病に認 院入知 ・院症 ・施の 設や 入方 所が で緊 急急 時時	所見認 守知 る症 し の 方 を 地 域 居 場 で	対認 す知 支症 援方 の 家 族 に	そ 他	無 回 答
全体		1764	47.3	47.5	33.9	41.1	23.5	33.5	3.5	8.3
性別	男性	773	51.0	44.2	32.1	35.7	21.6	31.3	4.0	6.6
	女性	973	44.6	50.5	35.8	45.6	25.4	35.8	3.1	9.5
年齢別	60~64歳	343	51.9	51.3	41.7	50.1	30.9	48.7	2.6	1.5
	65~69歳	407	53.3	49.4	36.6	43.2	23.8	33.9	3.4	5.7
	70~74歳	378	44.7	48.1	38.6	40.7	26.2	32.5	1.6	6.9
	75~79歳	275	48.4	44.4	23.6	35.3	20.0	25.5	6.5	9.8
	80~84歳	175	37.7	44.0	28.6	32.0	18.3	23.4	4.0	18.9
	85~89歳	118	39.0	47.5	26.3	38.1	16.1	26.3	4.2	17.8
	90歳以上	64	39.1	35.9	20.3	35.9	10.9	32.8	3.1	18.8

性別にみると、女性の方が男性より「認知症の方が緊急時に入院や入所できる病院・施設」の割合が高くなっている。

(13) 福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識

問 24 福岡市は、認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちだと思いますか。(○は1つ)

【図表 3-17-1 福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識】



福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識は、「そう思う」が 45.7%、「そう思わない」が 40.1%となっている。

【図表 3-17-2 福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識×年齢別】

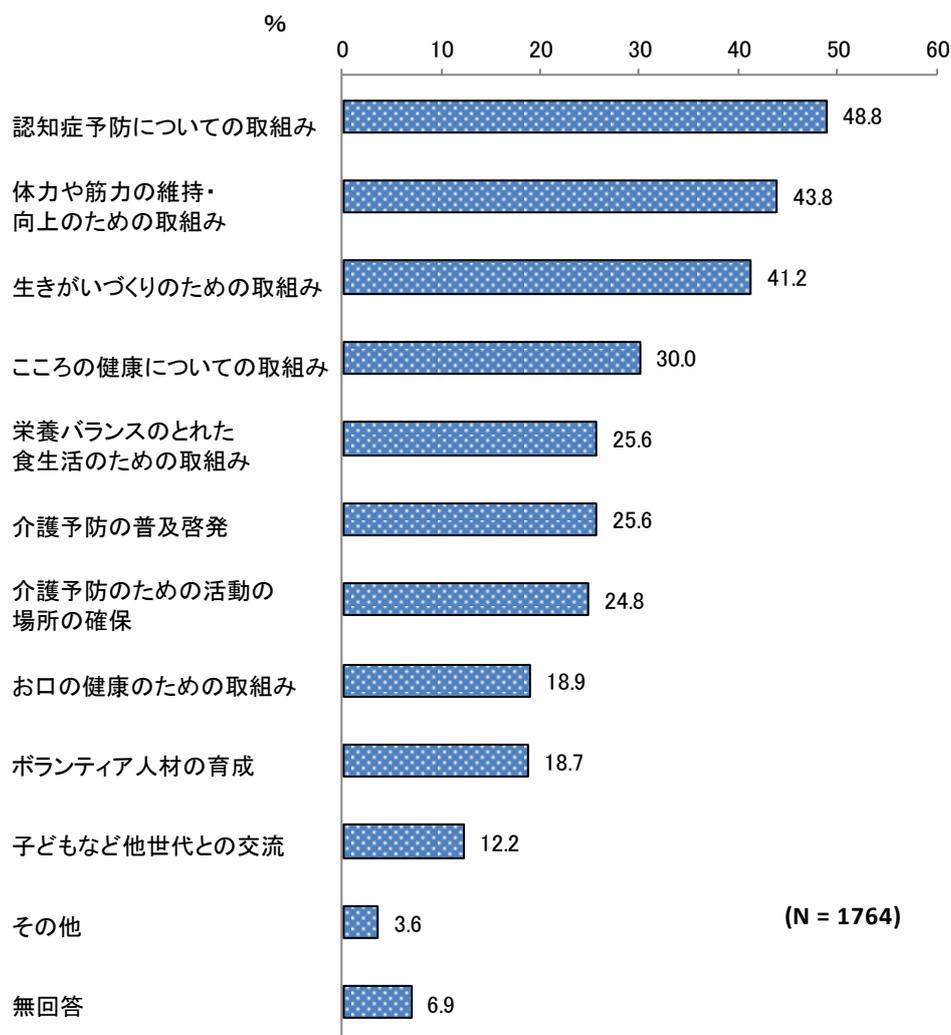
		回答数	そう思う	そう思わない	無回答
		(%)			
全体		1764	45.7	40.1	14.1
年齢別	60～64歳	343	44.9	46.6	8.5
	65～69歳	407	46.4	42.3	11.3
	70～74歳	378	42.1	43.1	14.8
	75～79歳	275	46.5	35.3	18.2
	80～84歳	175	45.7	35.4	18.9
	85～89歳	118	50.8	29.7	19.5
	90歳以上	64	53.1	28.1	18.8

年齢別にみると、60～64歳、70～74歳では「そう思わない」の割合が「そう思う」の割合を上回っている。

## (14) 健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと

問 25 健康づくりや介護予防などの取組みについて、今後福岡市に力を入れてほしいことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-18-1 健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと】



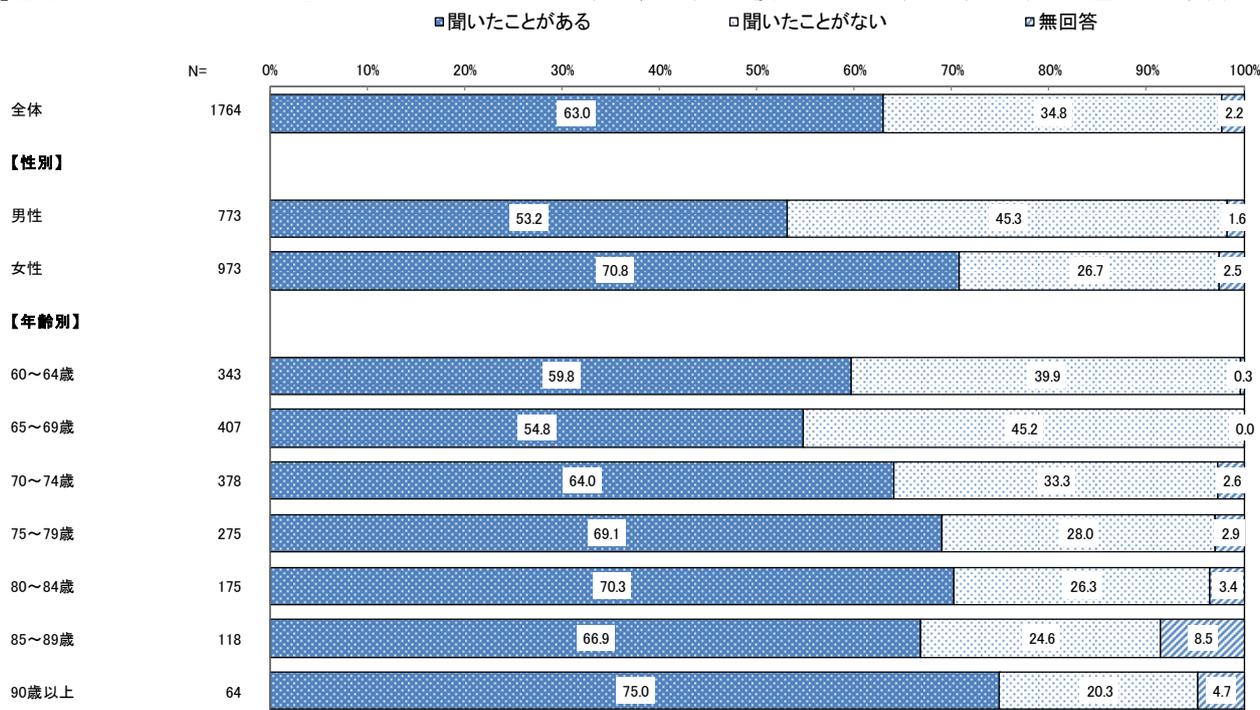
健康づくりで福岡市に力を入れてほしいことは、「認知症予防についての取組み」が 48.8%で最も高く、次いで「体力や筋力の維持・向上のための取組み」が 43.8%、「生きがいつくりのための取組み」が 41.2%となっている。

### 3. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）について

#### （1）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度

問 26 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）という名前を聞いたことがありますか。（○は1つ）

【図表 3-19-1 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度×性別・年齢別】



いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度は、「聞いたことがある」が63.0%、「聞いたことがない」が34.8%となっている。

性別にみると、女性の方が男性より「聞いたことがある」の割合が高くなっており、70.8%と約7割を超えている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「聞いたことがある」の割合が高くなる傾向がある。

【図表 3-19-2 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度×経年比較】

		回答数	聞いたことがある (%)	聞いたことがない (%)	無回答 (%)
全体		1764	63.0	34.8	2.2
経年	平成28年度	1886	53.6	45.1	1.3
	平成25年度	2985	46.8	49.6	3.6
	平成22年度	2939	40.6	52.9	6.5

過去の調査結果と比較すると、「聞いたことがある」の割合は増加している。

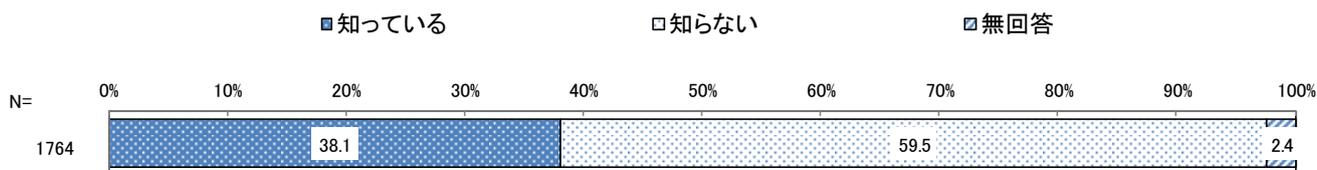
## 4. 権利擁護について

### (1) 高齢者虐待の通報義務の認知度

問 27 高齢者虐待（と思われること）を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。（○は1つ）

※通報先は、各区地域保健福祉課やいきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）です。

【図表 3-20-1 高齢者虐待の通報義務の認知度】

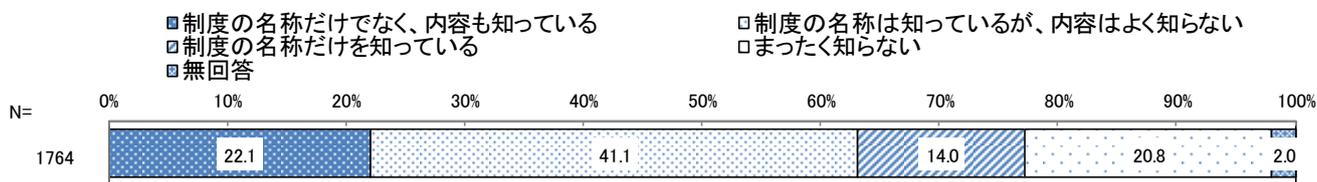


高齢者虐待の通報義務の認知度は、「知っている」が38.1%、「知らない」が59.5%となっている。

### (2) 成年後見制度の認知度

問 28 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。（○は1つ）

【図表 3-21-1 成年後見制度の認知度】



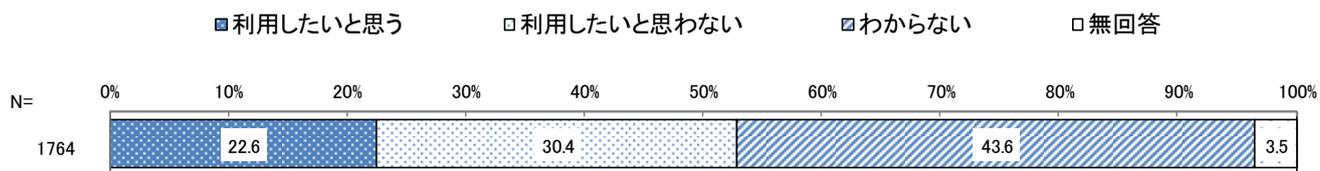
成年後見制度の認知度は、「制度の名称は知っているが、内容はよく知らない」が41.1%で最も高く、次いで「制度の名称だけでなく、内容も知っている」が22.1%、「まったく知らない」が20.8%となっている。

(3) 成年後見制度の利用

① 成年後見制度の利用意向

問 29 あなたは、将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

【図表 3-22-1 成年後見制度の利用意向】



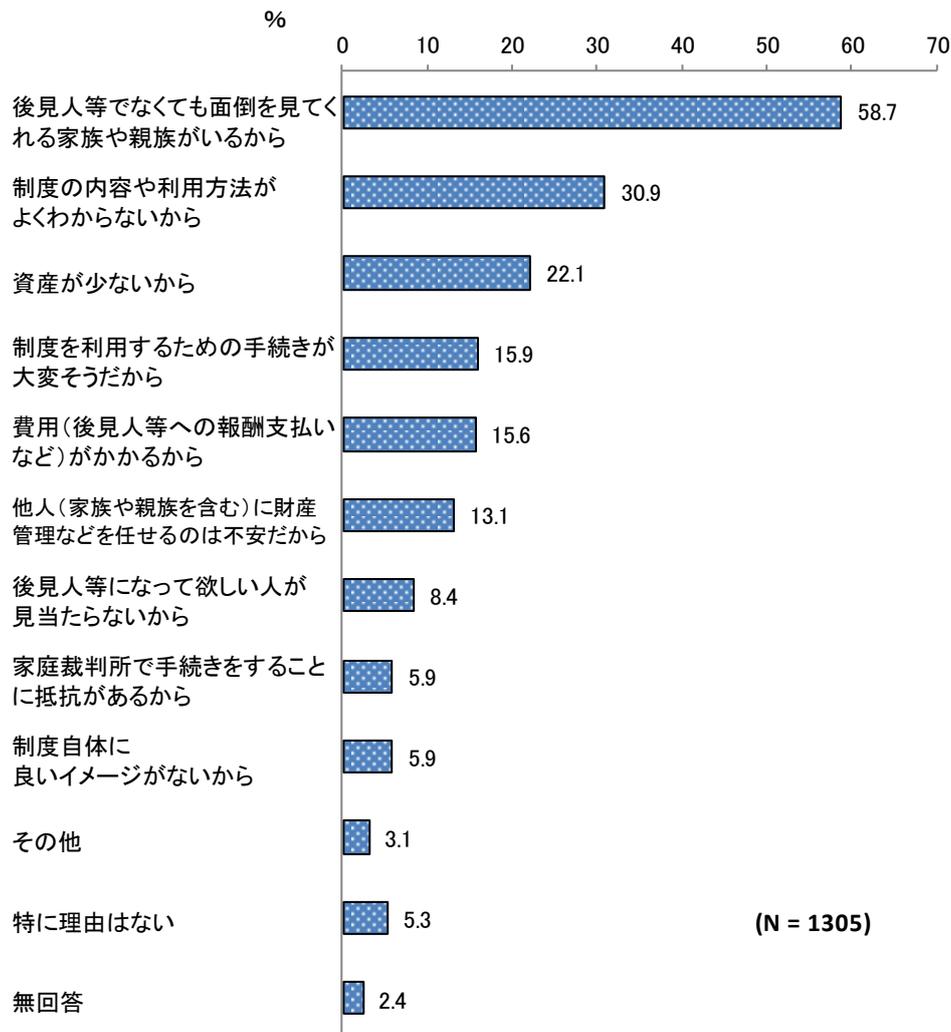
成年後見制度の利用意向は、「わからない」が 43.6%で最も高く、次いで「利用したいと思わない」が 30.4%、「利用したいと思う」が 22.6%となっている。

## ②成年後見制度を利用したいと思わない理由

【問 29】で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問 29-1 あなたが、「利用したいと思わない」、または、「わからない」と答えた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-22-2 成年後見制度を利用したいと思わない理由】



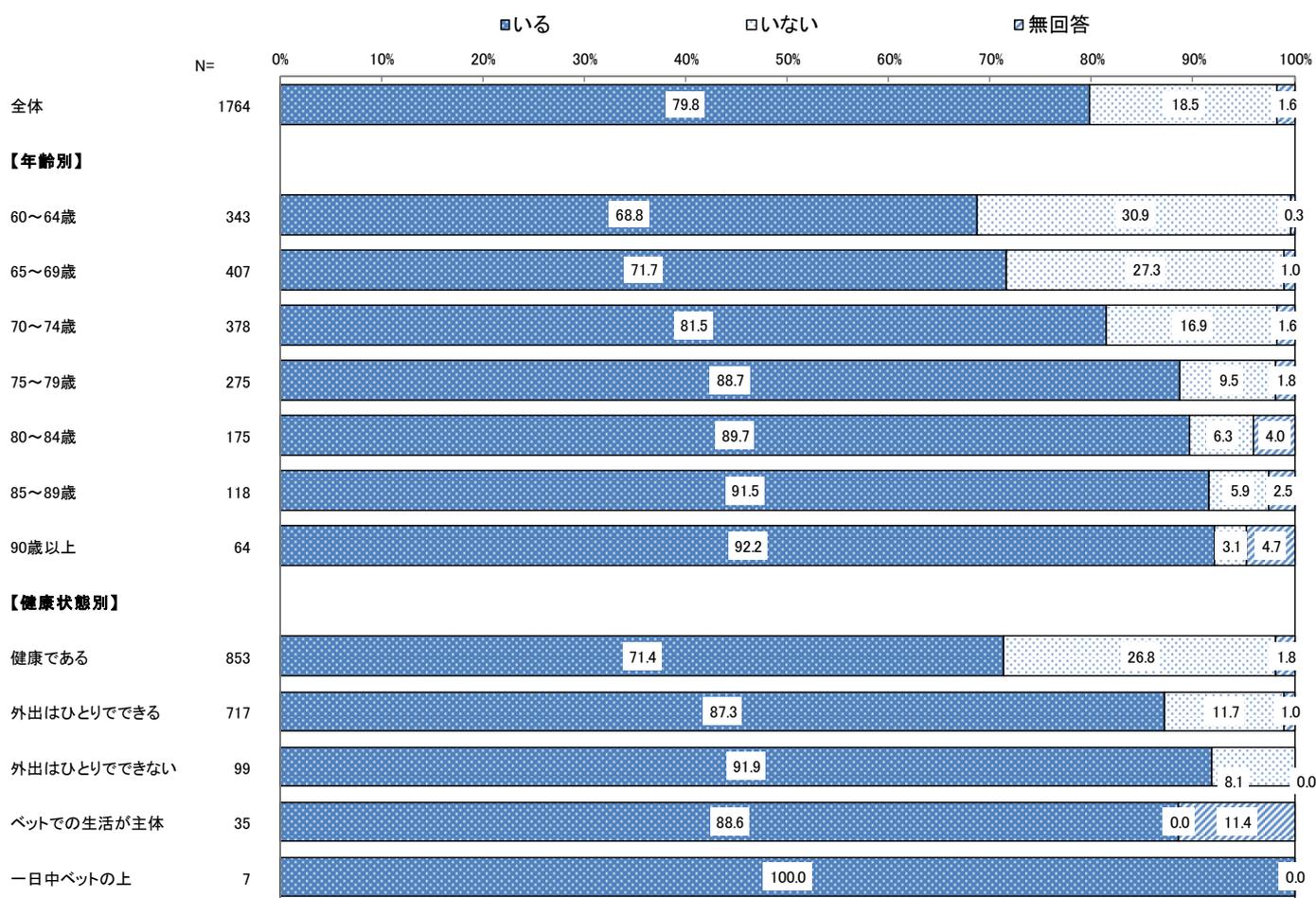
成年後見制度を利用したいと思わない理由は、「後見人等でなくても面倒を見てくれる家族や親族がいるから」が 58.7% で最も高く、次いで「制度の内容や利用方法がよくわからないから」が 30.9%、「資産が少ないから」22.1% となっている。

## 5. 医療について

### (1) かかりつけ医の有無

問 30 あなたは、普段から健康状態や病気のことなどで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受けるかかりつけ医がいますか。(○は1つ)

【図表 3-23-1 かかりつけ医の有無×年齢別・健康状態別】

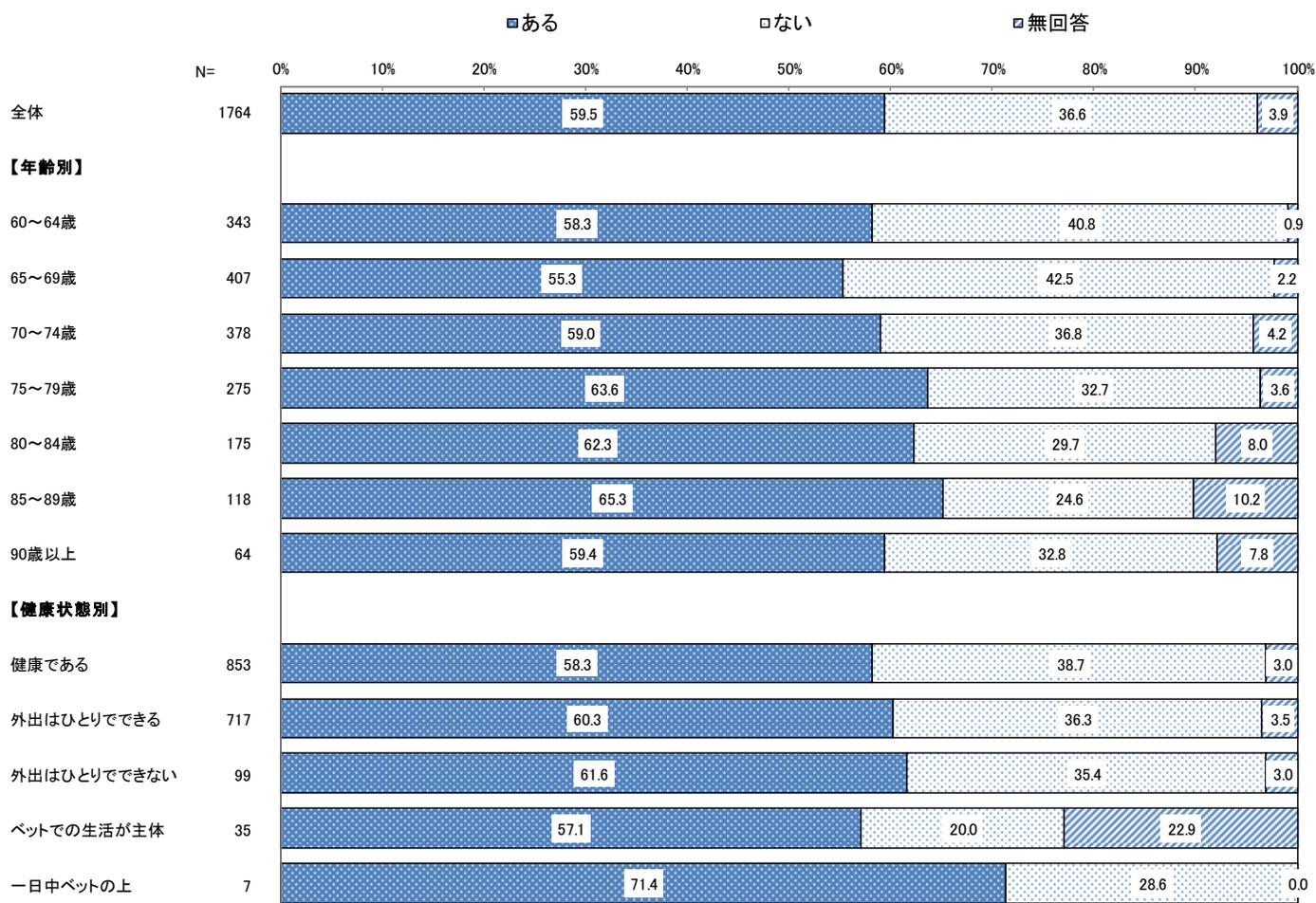


かかりつけ医の有無は、「ある」が79.8%、「いない」が18.5%となっている。  
 年齢別にみると、すべての年齢で「いる」の割合が6割を超えている。また、年齢が高くなるほど「いる」の割合は高くなっており、90歳以上では92.2%となっている。  
 健康状態別にみると、すべての健康状態で「いる」の割合が7割を超えている。

## (2) 在宅医療への関心

問 31 あなたは、在宅医療に関心がありますか。(○は1つ)

【図表 3-24-1 在宅医療への関心×年齢別・健康状態別】



在宅医療への関心は、「ある」が59.5%、「ない」が36.6%となっている。

年齢別にみると、すべての年齢で「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。

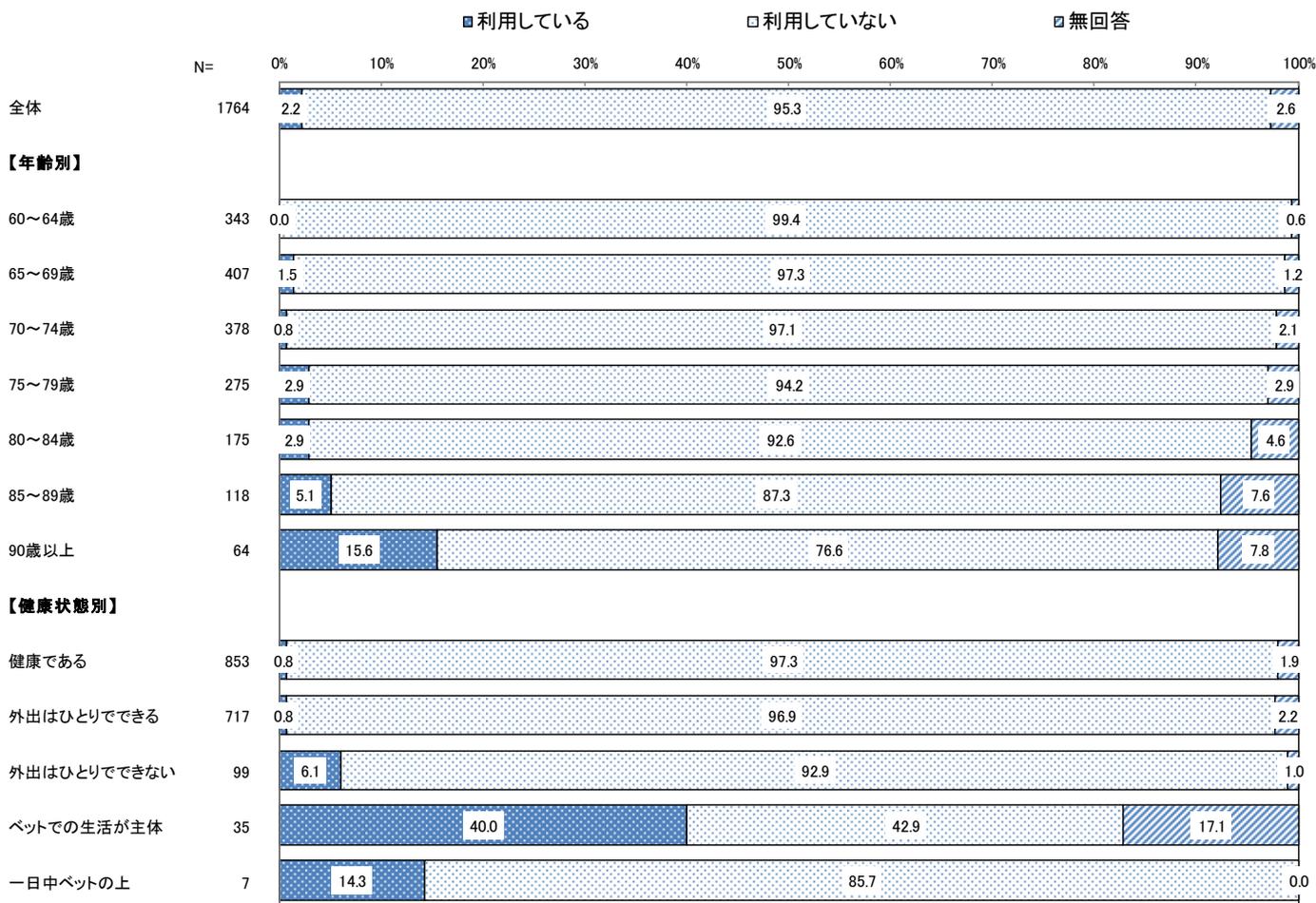
健康状態別にみると、一日中ベッドの上の人では「ある」の割合が他と比べて高くなっている。

(3) 訪問診療の利用の有無

問 32 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)

※訪問診療とは、かかりつけ医が在宅で療養している患者宅を定期的に訪問し、医療を提供することです。

【図表 3-25-1 訪問診療の利用の有無×年齢別・健康状態別】



訪問診療の利用の有無は、「利用している」が 2.2%、「利用していない」が 95.3%となっている。

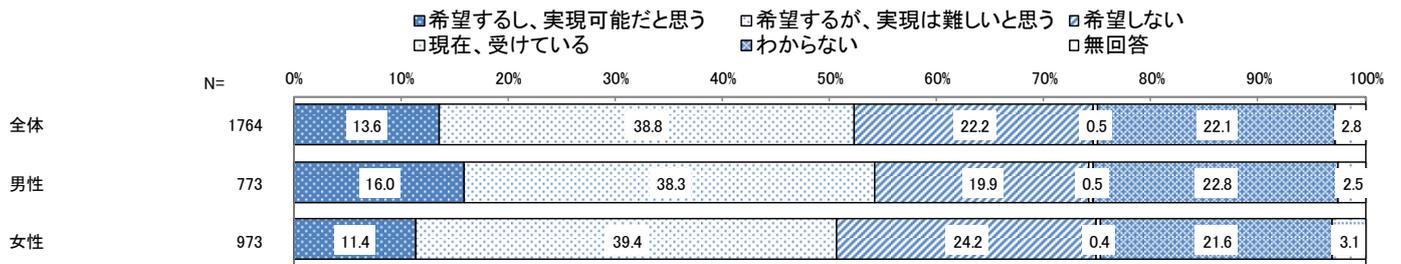
年齢別にみると、90歳以上では「利用している」の割合が他と比べて高くなっている。健康状態別にみると、ベッドでの生活が主体の人、一日中ベッドの上の人では「利用している」の割合が他と比べて高くなっている。

(4) 在宅医療の希望

①在宅医療の希望・実現可能性

問 33 あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能と思いますか。(○は1つ)

【図表 3-26-1 在宅医療の希望・実現可能性×性別】



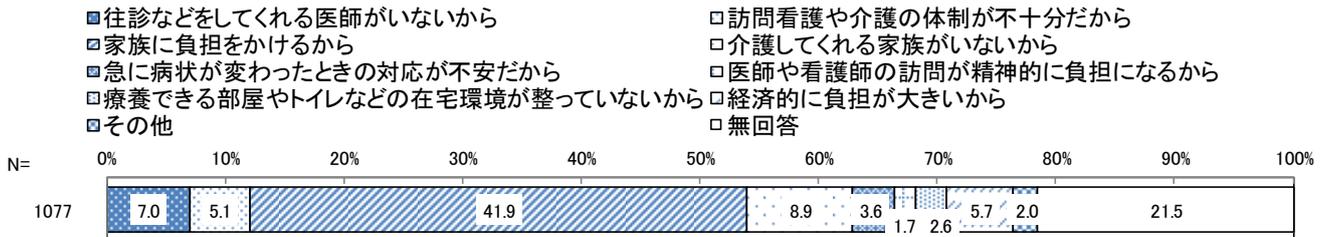
在宅医療の希望は、「希望するし、実現可能だと思う」と「希望するが、実現は難しいと思う」を合わせた『希望する』が 52.4%、「希望しない」が 22.2%となっている。

②在宅医療を希望しない・実現が難しい理由

【問 33】で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問 33-1 あなたが、在宅医療を「希望しない」、または「実現が難しい」と思う理由は何ですか。(〇は1つ)

【図表 3-26-2 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由】



在宅医療を希望しないまたは実現が難しい理由は、「家族に負担をかけるから」が41.9%で最も高く、次いで「介護してくれる家族がいないから」が8.9%、「往診などをしてくれる医師がいないから」が7.0%となっている。

【図表 3-26-3 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由×年齢別・世帯構成別】

	回答数	(%)										
		往診などをしてくれる医師がいないから	訪問看護や介護の体制が不十分だから	家族に負担をかけるから	介護してくれる家族がいないから	急に病状が変わったときの対応が不安だった	医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから	療養できる部屋やトイレなどの在宅環境が整っていないから	経済的に負担が大きいから	その他	無回答	
全体	1077	7.0	5.1	41.9	8.9	3.6	1.7	2.6	5.7	2.0	21.5	
年齢別	60～64歳	226	2.2	4.4	46.5	8.0	1.3	0.4	2.7	4.9	1.8	27.9
	65～69歳	248	9.3	2.4	41.9	9.7	4.0	1.6	2.0	4.4	1.6	23.0
	70～74歳	223	6.3	7.2	41.3	9.0	3.6	1.3	1.8	7.6	1.8	20.2
	75～79歳	172	8.7	6.4	39.0	9.9	2.3	2.9	4.7	7.0	1.7	17.4
	80～84歳	98	8.2	7.1	37.8	9.2	7.1	1.0	3.1	6.1	2.0	18.4
	85～89歳	71	12.7	5.6	36.6	8.5	4.2	2.8	2.8	4.2	4.2	18.3
90歳以上	35	2.9	0.0	57.1	2.9	11.4	5.7	0.0	2.9	2.9	14.3	
世帯構成別	一人暮らし世帯	219	4.6	3.2	24.2	28.3	5.5	0.9	2.3	9.6	1.8	19.6
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	347	11.2	6.6	42.4	5.2	4.0	1.7	3.5	5.2	1.7	18.4
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	82	9.8	6.1	56.1	1.2	1.2	1.2	1.2	0.0	22.0	
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	62	4.8	4.8	58.1	1.6	0.0	1.6	4.8	0.0	3.2	21.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	41	2.4	2.4	41.5	17.1	2.4	4.9	2.4	4.9	4.9	17.1
	二世帯同居世帯	207	5.8	3.4	44.4	2.4	3.4	1.9	1.4	5.8	2.9	28.5
	三世帯同居世帯	30	0.0	13.3	56.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	23.3
その他の世帯	75	1.3	5.3	53.3	1.3	5.3	1.3	1.3	9.3	1.3	20.0	

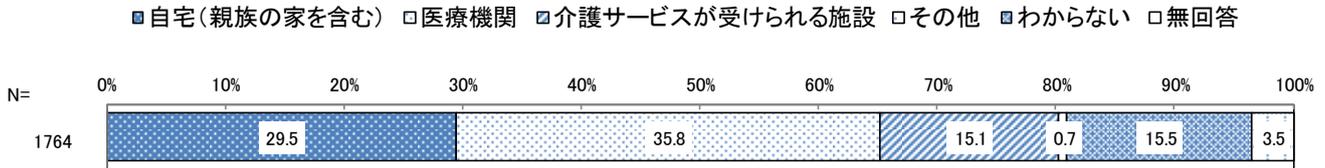
年齢別にみると、90歳以上では「家族に負担をかけるから」の割合が他と比べて高くなっている。

世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「介護してくれる家族がいないから」の割合が、夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯、夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯、三世帯同居世帯では「家族に負担をかけるから」の割合が他と比べて高くなっている。

(5) 最期を迎えたい場所

問 34 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか  
(○は1つ)

【図表 3-27-1 最期を迎えたい場所】



最期を迎えたい場所は、「医療機関」が 35.8%で最も高く、次いで「自宅(親族の家を含む)」が 29.5%、「わからない」が 15.5%となっている。

【図表 3-27-2 最期を迎えたい場所×性別・世帯構成別】

		回答数	自宅(親族の家を含む)	医療機関	介護サービスが受けられる施設	その他	わからない	無回答
全体		1764	29.5	35.8	15.1	0.7	15.5	3.5
性別	男性	773	37.5	31.0	12.2	0.9	15.1	3.2
	女性	973	23.1	39.5	17.6	0.5	15.7	3.6
世帯構成別	一人暮らし世帯	357	13.2	40.6	17.4	0.6	23.2	5.0
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	573	32.6	34.0	16.9	0.9	12.2	3.3
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	141	32.6	39.7	12.8	0.7	11.3	2.8
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	97	37.1	36.1	10.3	0.0	14.4	2.1
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	62	29.0	40.3	17.7	0.0	11.3	1.6
	二世帯同居世帯	316	37.7	34.8	11.1	0.9	12.7	2.8
	三世帯同居世帯	56	33.9	26.8	19.6	0.0	17.9	1.8
	その他の世帯	130	32.3	31.5	12.3	0.8	20.8	2.3

性別にみると、男性の方が女性より「自宅(親族の家を含む)」の割合が高くなっている。

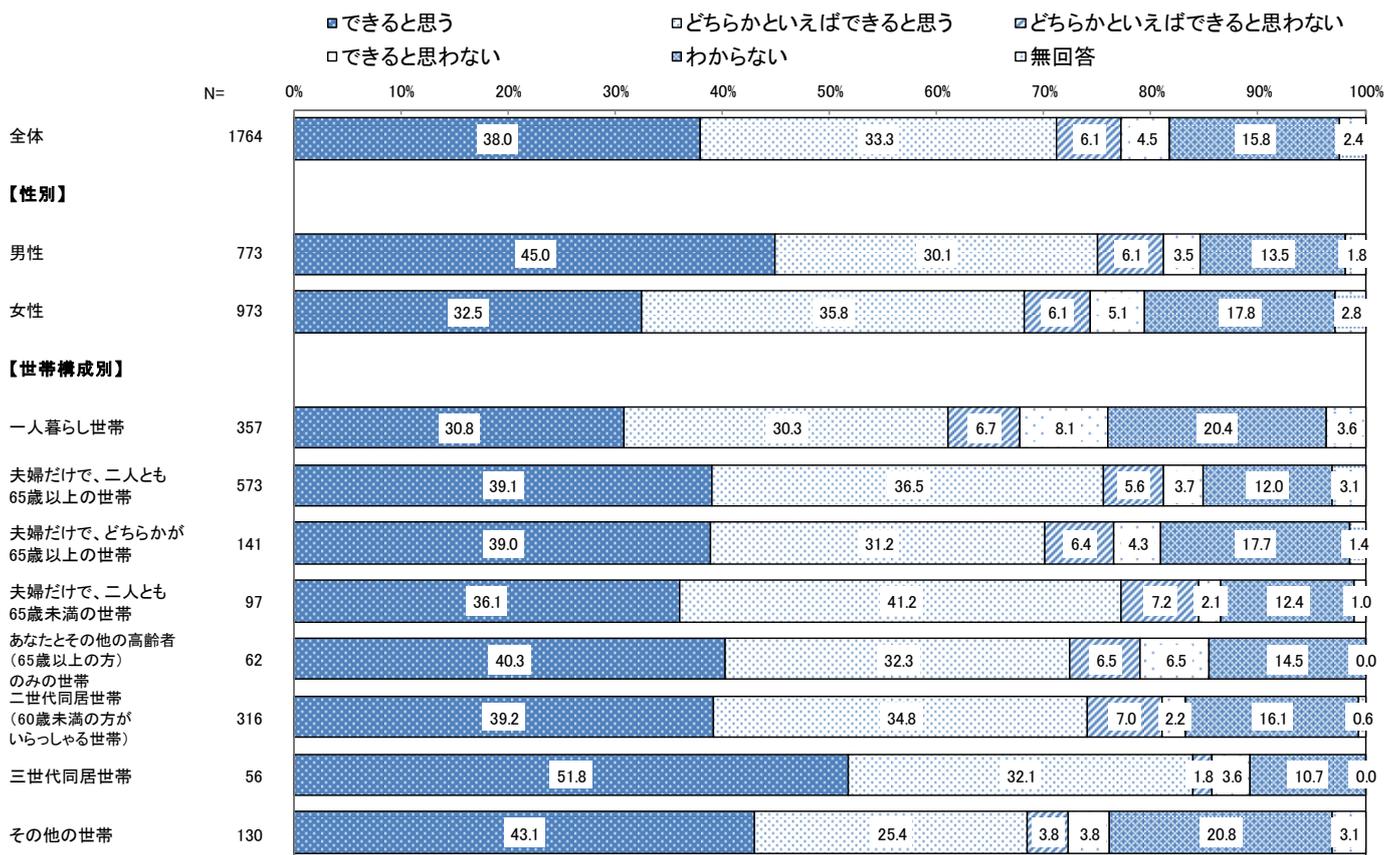
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「自宅(親族の家を含む)」の割合が低くなっている。

## 6. これからの介護について

### (1) 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか

問 35 あなたは、これから年齢を重ねても、住み慣れた地域で暮らし続けることができると思いますか。(○は1つ)

【図表 3-28-1 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか×性別・世帯構成別】



住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うかは、「できると思う」が38.0%、「どちらかといえばできると思う」が33.3%で、これらを合わせた『できると思う』が71.3%となっている。

性別にみると、男性の方が女性より『できると思う』の割合が高くなっている。

世帯構成別にみると、三世帯同居世帯では「できると思う」の割合が他と比べて高くなっている。

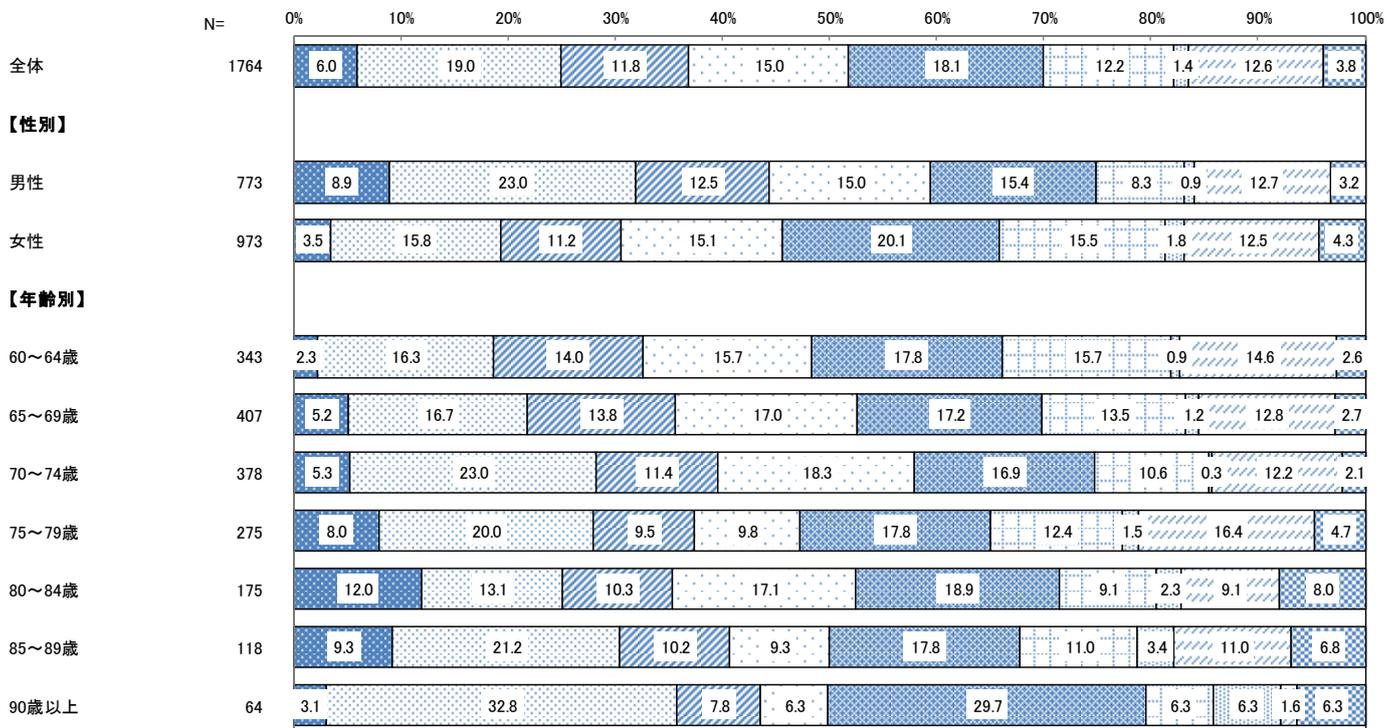
(2) 今後の介護意向

問 36 あなたは、介護が必要となったとき、どのようにしたいと考えていますか。

(○は1つ)

【図表 3-29-1 今後の介護意向×性別・年齢別】

- 在宅で、できるかぎり家族だけでの介護を受けたい
- 在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい
- 在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい
- 施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で生活したい
- 住み慣れた地域の施設に入所したい
- 住み慣れた地域でなくてもよいので施設に入所したい
- その他
- わからない
- 無回答



介護が必要になったときは、「在宅で、できるかぎり家族だけでの介護を受けたい」、「在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」、「在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい」、「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で生活したい」を合わせた『在宅で生活したい』が51.8%と半数を超えている。

性別にみると、男性の方が女性より『在宅で生活したい』の割合が高くなっている。

年齢別にみると、90歳以上では「在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」と「住み慣れた地域の施設に入所したい」の割合が他と比べて高くなっている。

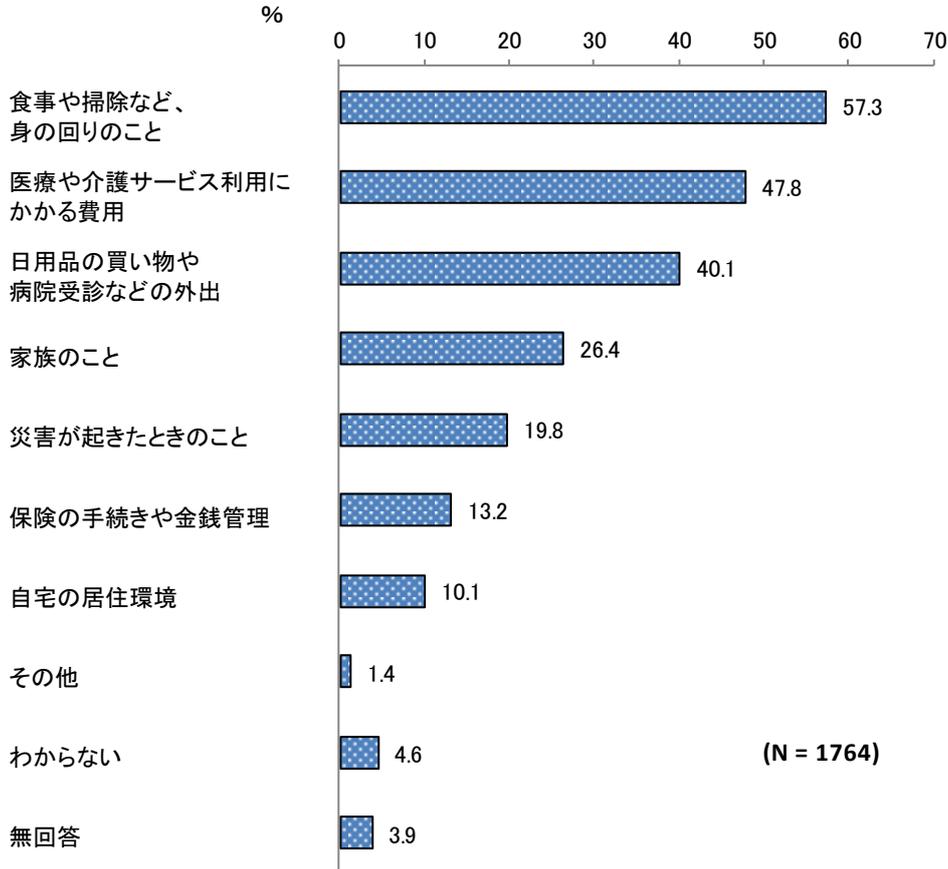


(3) 医療や介護が必要になったとき不安なこと

問 37 あなたが、医療や介護が必要になったとき、どのようなことが不安ですか。

(○は3つまで)

【図表 3-30-1 医療や介護が必要になったとき不安なこと】



医療や介護が必要になったとき不安なことは、「食事や掃除など、身の回りのこと」が 57.3%で最も高く、次いで「医療や介護サービス利用にかかる費用」が 47.8%、「日用品の買い物や病院受診などの外出」が 40.1%となっている。

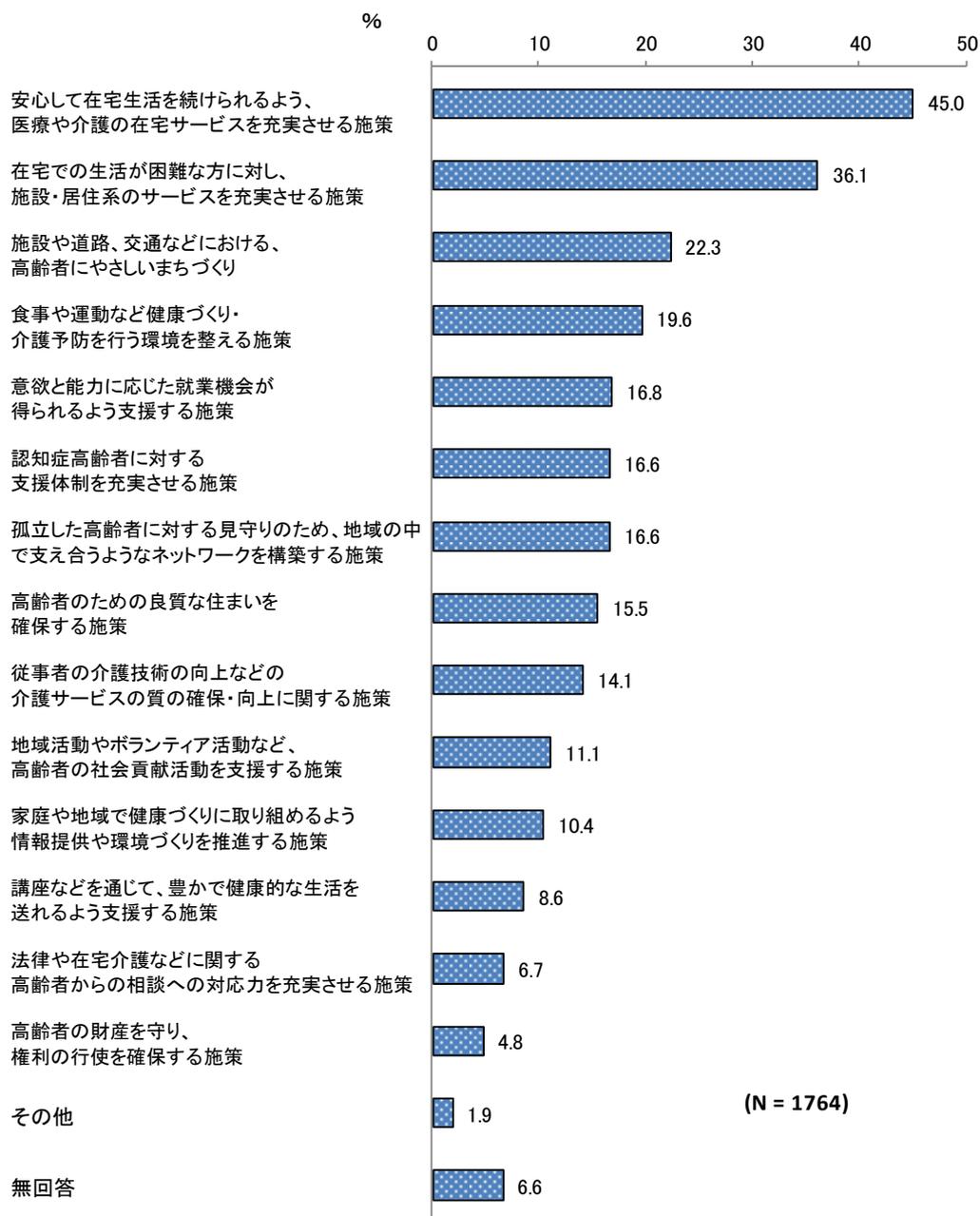
【図表 3-30-2 医療や介護が必要になったとき不安なこと×健康状態別】

		回答数	の食事や掃除など、身の回りのこと	院日用品の買い物や病院受診などの外出	こ災害が起きたときのこと	自宅の居住環境	利医療や介護サービスにかかる費用	管保険の手続きや金銭	家族のこと	その他	わからない	無回答
全体		1764	57.3	40.1	19.8	10.1	47.8	13.2	26.4	1.4	4.6	3.9
健康状態別	健康である	853	57.7	37.9	19.6	11.3	48.5	12.9	28.1	1.5	4.8	3.6
	外出はひとりできる	717	58.3	44.4	19.7	9.5	48.4	13.9	26.5	1.1	4.0	3.2
	外出はひとりできない	99	52.5	32.3	23.2	7.1	41.4	15.2	20.2	1.0	8.1	6.1
	ペットでの生活が主体	35	54.3	31.4	22.9	5.7	34.3	0.0	20.0	2.9	0.0	14.3
一日中ペットの上	7	14.3	42.9	28.6	14.3	57.1	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	

(4) 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策

問 38 高齢者に関する施策について、行政に対して今後どのようなことに特に力を入れてほしいと思いますか。(〇は3つまで)

【図表 3-31-1 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策】



行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策は、「安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策」が 45.0%で最も高く、次いで「在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策」が 36.1%、「施設や道路、交通などにおける、高齢者にやさしいまちづくり」が 22.3%となっている。

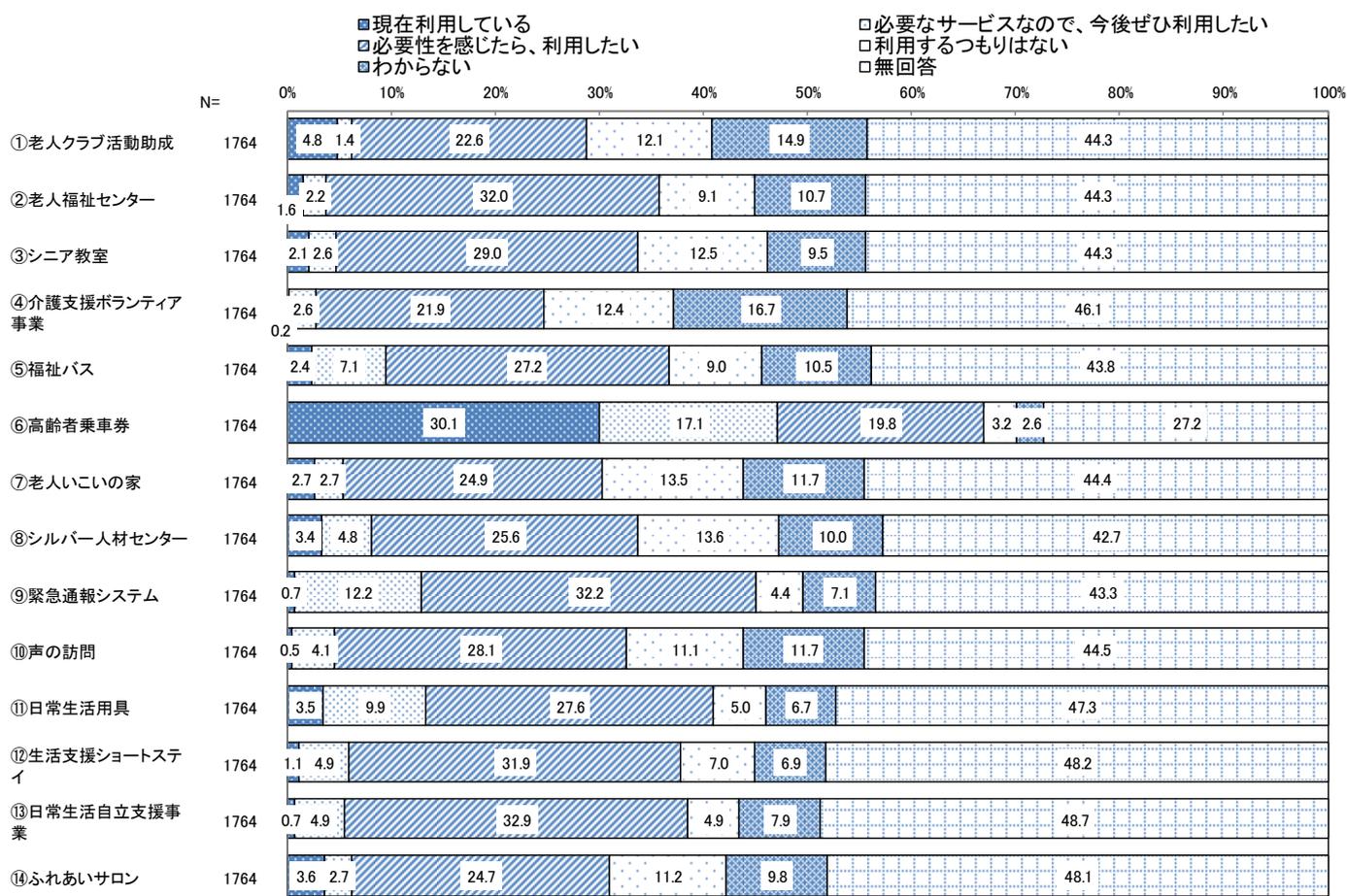


(5) 介護サービスの利用

①サービスの利用状況・利用意向

問 39 あなたは、以下のサービスを利用したことがありますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。(項目ごとに○は1つ)

【図表 3-32-1 サービスの利用状況・利用意向】

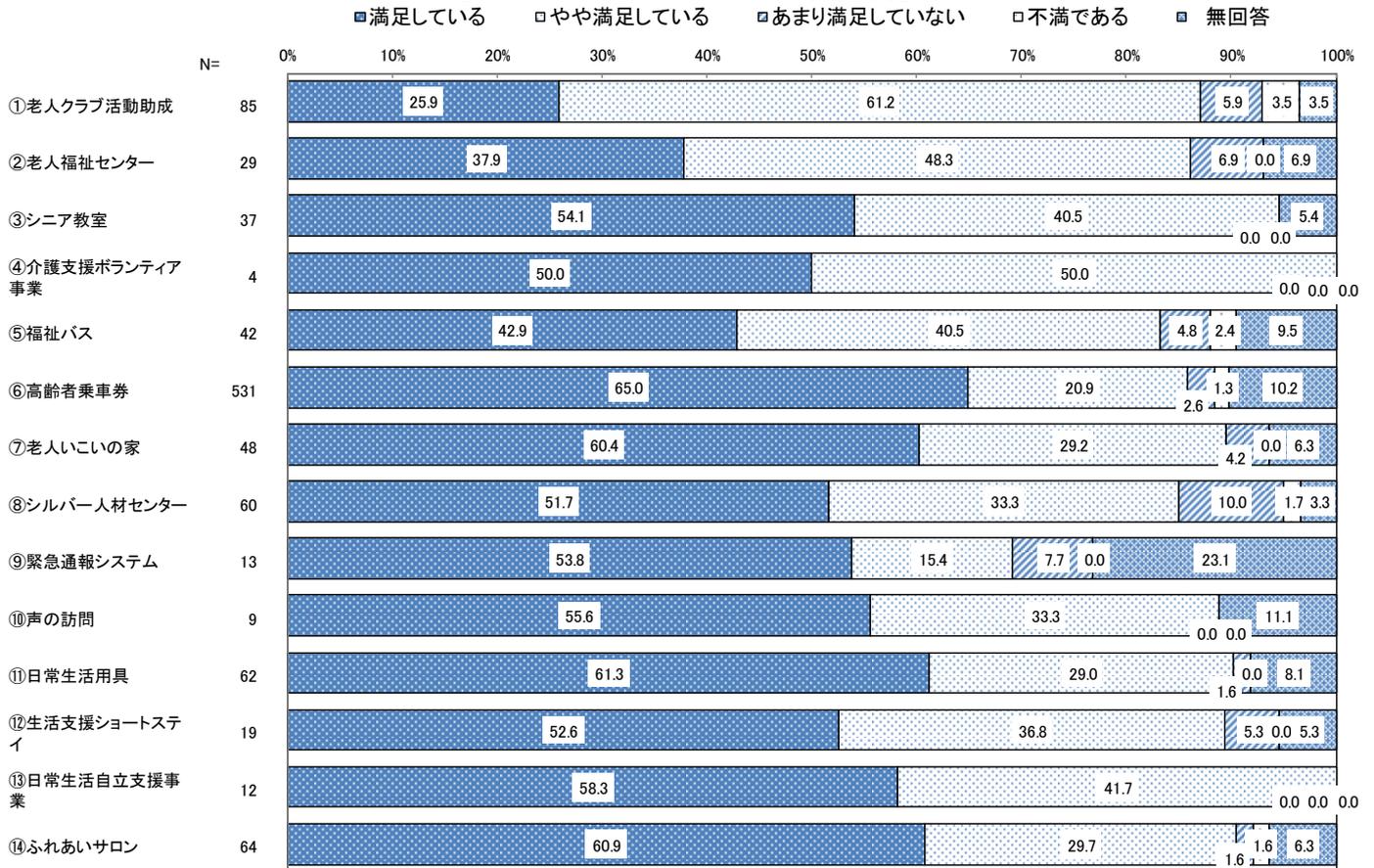


サービスの利用状況・利用意向をみると、「現在利用している」の割合は「高齢者乗車券」が30.1%で最も高く、それ以外のサービスは1割に満たない。また、『利用したい』（「必要なサービスなので、今後ぜひ利用したい」と「必要性を感じたら、利用したい」の合計）の割合は「緊急通報システム」が44.4%で最も高く、次いで「日常生活自立支援事業」が37.8%、「日常生活用具」が37.5%となっている。

②サービスの満足度

問 39 さらに、サービスを現在利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。  
(項目ごとに○は1つ)

【図表 3-32-2 サービスの満足度】



サービスを利用している場合の満足度は、すべての項目で「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』の割合が6割以上である。